

VIII 資料編（調査票）

1. 就学前児童の調査票

真岡市子ども・子育て支援事業二一ス調査票

【就学前児童の保護者の皆さまへ】

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をお願いいたします。
 平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく新制度がはじまり、真岡市においても、種えす
 変化する二一スに迅速に対応するため、「子ども子育てに関する5年間の支援事業計画」を決定し、子育て
 支援サービスの充実を図ってまいりました。

この度、「子ども子育てに関する支援事業計画」の見直しにあたり、子育て支援のための施設やサービス
 の利用等について、現状とご希望をお聞かせいただくためにアンケート調査を実施することにいたしました。
 ご回答いただいた内容は、今後の真岡市の子ども・子育て支援のあり方を決めるための貴重な資料とし
 て、「真岡市子ども・子育て会議」において検討します。また、これ以外の目的は一切利用いたしません
 ので、ご安心ください。

大変お忙しい中、ご多忙のこととは存じますが、運否をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成31年1月



真岡市長 石坂 真一

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の宛先者は、平成30年12月1日現在で抽出しています。
2. ご記入は、宛名のホ子さんの保護者の方にお願いたします。
3. ご回答は、選択肢の番号・記号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合がございます。
 す。また、「その他」を選択した場合には、() 内に具体的な内容を記載してください。
4. 時間を数字で記入いただく場合、24時間制(例)09時~18時で記入してください。
5. 設問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がございます。任意書きや失印になってご回答くだ
 さい。特に任意書きのない場合は次の期間へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート結果は、お手帳ですが、2月1日(金)までに同封の返信用封筒に入
 りて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付やお名前の記入は必要ありません。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

真岡市 健康福祉部 子ども家庭課
 電話:0285-83-8131(直通)
 F A X:0285-82-2340
 Eメール:kodomokatei@city.moka.lg.jp

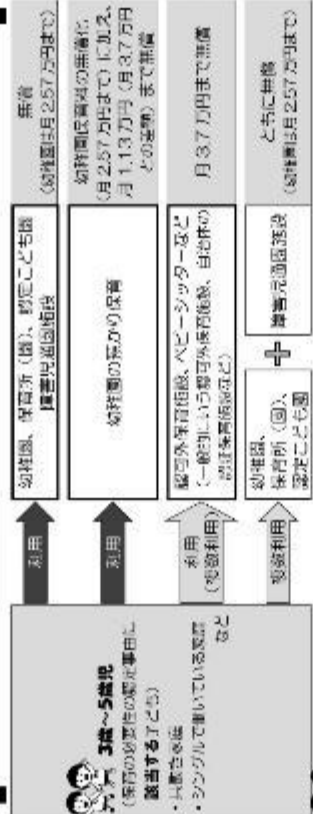



子ども子育て支援新制度(平成27年4月より)は、以下のような考えに基づいています。

子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが豊かに成長することができることを
 念を奨励することを目指し、平成27年4月より開始された新制度では、社会全体の責任とし
 て、そのような社会を実現するための環境を整備することを目的としています。
 また、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、地域や企業が保
 護者に寄り寄り、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じること
 ができるような支援を目指しています。

幼児教育・保育の気になる動向 ~国が示す「幼児教育・保育無償化」について~

2019年10月より、3歳から5歳までのすべての子ども及び0歳から2歳までの生後非障児世
 帯の子どものための幼児教育・保育の費用の無償化が予定されています。
 幼児教育・保育の費用の無償化の取組は下表のとおりです。



※認可外保育施設や認可外保育施設を利用している場合、無償化の対象となるためには、保育の提供の認定事由に
 該当することが必要となります。
 ※生後非障児世帯については、0歳~2歳児についても二一スと同等の考えがより無償化の対象となります。この場合、
 認可外保育施設が月4.2万円まで無償、認可外保育施設はすべて無償となります。
 ※上記の認可外保育施設及びベビーシッターについては、認可外保育施設の出発し、無償化の基準を設けるものになる
 (ただし、認可外保育施設として、施設長の認定を備えていない場合でも無償化の対象とする認可外保育施設がある。
 ※この点により、変更となる場合があります。

※本調査における用語の定義

用語	定義
幼稚園	学校教育法に定める、3~5歳児に対して学校教育を行う施設(学校教育法第22条)
保育所(園)	児童福祉法に定める、保育を必要とする0~5歳児に対して保育を行う施設(児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所(園)の機能を併せ持つ施設(就学前の子どもにも関する教育、保育等の特 別的な取組に関する法律第2条第6項)
子育て支援	教育・保育その他の子どもが豊かに成長するために行われる支援
教育	問14までは家庭での教育を念めたい意味、問15以降は幼稚園の学校での教育という 意味です。

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の郵便番号を記入してください。(口内に数字をご記入ください)

321- □□□□

2. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月日を記入ください。(口内に数字をご記入ください。)

平成 □□ 年 □□ 月生まれ

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(Oは1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(Oは1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にに行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(Oは1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

問6 宛名のおさんが妊娠の際、または生まれた時に真岡市にお住まいでしたか。(Oは1つ)

1. はい → 問7へ 2. いいえ → 問6-1へ

問6-1 問6で「2. いいえ」と回答した方についてうかがいます。

真岡市に転入した理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてにO)

1. 働いた仕事が生息するのに変更 2. 方言や生活習慣が近い
 3. 交際の圏が近い 4. 医療機関が充実している
 5. 自然環境が良い 6. 保育園や子育て支援サービスが充実している
 7. 教育環境が良い 8. 親友が真岡市に住んでいる
 9. 公共施設や道路・公園などが整っている 10. その他 ()

3. 子育て環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるものすべてにO)

1. 父親とともに 2. 母親 3. 父親 4. 祖父母
 5. 幼稚園 6. 保育園(園) 7. 認定こども園 8. その他 ()

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、特に影響すると思われる環境は何ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園
 4. 保育園(園) 5. 認定こども園 6. 子育て支援センター
 7. その他 ()

問9 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 日頃から祖父母等の親族にみってもらえる
 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみってもらえる
 3. 日頃から子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
 5. いずれもいない

問10 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

また、相談できる場所がありますか。(Oは1つ)
 1. いる/ある → 問10-1へ 2. いない/ない → 問11へ

問10-1 問10で「1. いる/ある」と回答した方についてうかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 配偶者(夫または妻) 2. 父母(子どもの祖父母)
 3. 親戚(兄弟姉妹含む) 4. 友人や知人
 5. 近所の人 6. 地域の人
 7. 保育園(園) 8. 幼稚園
 9. 子育て支援センター 10. 民間児童館
 11. NPO 12. 児童館健康福祉センター(栃木県)
 13. 総合福祉保健センター(真岡市) 14. 真岡市子育て世代包括支援センター
 15. 民生委員・児童委員 16. かかりつけの医師
 17. 市の子育て関連担当窓口 18. その他【別】ヘビーシッター ()

問11 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

()

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問12 現在の就労状況(自営業、家庭従事者含む)をお答えください。(Oは1つ)

(1) 母親の状況について【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. フルタイム ^{※1} で就労しているが、専休・育休・介護休業中ではない	⇒ (1) - (1) - 3へ
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、専休・育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒ (2)へ

※1 フルタイム：1週5日超過・1日8時間以上の就労

※2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(1) - ① - ② (1) で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください)

※就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※専休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制(例：帰宅時間 1|9|時)

① 就労日数・就労時間	1週当たり	日 / 1日当たり	時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	時 / 帰宅時間	時

(2) 父親の状況について【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. フルタイム ^{※1} で就労しているが、専休・介護休業中ではない	⇒ (2) - (1) - 3へ
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	⇒ 問14へ

※1 フルタイム：1週5日超過・1日8時間以上の就労

※2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(2) - ① - ② (2) で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(口内に数字をご記入ください)

※就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※専休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制(例：帰宅時間 1|9|時)

① 就労日数・就労時間	1週当たり	日 / 1日当たり	時間
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	時 / 帰宅時間	時

問13 問12の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(Oは1つ)

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問14 問12の(1)または(2)で「6」、「6」(就労していない)と回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(Oは1つ、該当する記号にO、該当する口内に数字をご記入ください)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一歩下の子どもが <input type="text"/> 歳になったらどこに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
希望する <input type="text"/> ア. フルタイム
就労形態 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
(1週当たり) <input type="text"/> 日 / 1日当たり <input type="text"/> 時間

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一歩下の子どもが <input type="text"/> 歳になったらどこに就労したい
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい
希望する <input type="text"/> ア. フルタイム
就労形態 イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)
(1週当たり) <input type="text"/> 日 / 1日当たり <input type="text"/> 時間

6. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

地域子育て支援拠点とは…
ついでに児童や子育て支援センター等と呼ばれており、子育て親子の交流の場のほか、子育てサークルの集まりや交流、子育てに関する相談や情報の提供、子育て講座などを行う場所として、真岡市には、子育て支援センターは第一子育て支援センター、第二子育て支援センター、このほか原野園子育て支援センターの3か所、子育てサロンとしては二宮曲町サロンがあります。

問17 真岡市の子育て支援センターを知っていますか。(〇は1つ)
1. 知っている
2. 知らない

問18 宛名のお子さんは、現在、真岡市の子育て支援センターを利用していますか。また、おおよその利用回数(頻度)をお答えください。(〇は1つ、該当する口内に数字をご記入ください。)

1. 利用している
 1回当たり 目 もしくは 1か月当たり 回程度 ⇒ **問18-1A**
 2. 利用していない ⇒ **問18-2A**

問18-1 問18で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。
 子育て支援センターを利用された理由や目的は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 広域ネットワークや親子で遊ぶ
2. 子育てに関する相談
3. 友達をつくる、交流をはかる
4. 学習
5. 情報収集
6. 子育てサークルをつくる(子育てグループ)
7. 習習と習き
8. その他()

問18-2 問18で「2. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
 子育て支援センターを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 利便性(立地や利用可能時間・日数など)が悪い
2. 参加することに不安がある
3. 利用方法(手続き等)がわからない
4. 時間が無い
5. その他()
6. 特に利用する必要性がない

問19 真岡市の子育て支援センターについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思えますか、おおよその利用回数(頻度)もご記入ください。
 (〇は1つ、該当する口内に数字をご記入ください)

1. 利用していないが、今後利用したい
 1回当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
 2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
 1回当たり 回 もしくは 1か月当たり 回程度
 3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、〇は1つ)

事業	A 知っている		B これまでに利用したことのある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① 母親父親学級、両親学級、育児学級	1	2	1	2	1	2
② 総合型児童センターの情操・相談事業	1	2	1	2	1	2
③ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2
④ 教育相談センター・教育相談室	1	2	1	2	1	2
⑤ 障害児(児)や幼稚園の園児等の開放(エンゼル広場)	1	2	1	2	1	2
⑥ 認定こども園(保育施設と幼稚園が一斉化した特別の)の子育て相談	1	2	1	2	1	2
⑦ 子育て支援センター(身近な世帯における相談や親睦の交流の場)	1	2	1	2	1	2
⑧ 真岡市子育て世代包括支援センター	1	2	1	2	1	2
⑨ ファミリー・サポート・センター(会員制による市民一対一対応を中心とした相互援助活動)	1	2	1	2	1	2
⑩ フォアミー・サポート・センター(会員制による市民一対一対応を中心とした相互援助活動)	1	2	1	2	1	2
⑪ 若狭児童相談室(こども福祉課内は相談)	1	2	1	2	1	2
⑫ 市が発行している子育て情報誌(ちびのこ子育てガイドブック)	1	2	1	2	1	2
⑬ 真岡市オビニオンリーダー会(遊びや学習などを企画し、市民の親子と一緒に子育てや家庭教育支援活動を行う団体)	1	2	1	2	1	2
⑭ 育児広場	1	2	1	2	1	2
⑮ 子育て広場	1	2	1	2	1	2
⑯ 休日広場	1	2	1	2	1	2
⑰ 短歌入所生活援助事業・ショートステイ(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	1	2			1	2



7. 宛名のお子さんの土日・祝日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

※「教育・保育事業」とは、幼稚園・保育園(園)、認可外保育園などの事業を指し、親族・知人による隔たりを設けずに行われます。

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望(一時的な利用は除きます)はありますか。希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(それぞれ〇は1つ、□内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例:09時から18時)

(1) 土曜日	1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
	2. ほぼ毎週利用したい	→ □□時から □□時まで
	3. 月に1~2回は利用したい	
(2) 日曜日・祝日	1. 利用する必要はない	利用したい時間帯
	2. ほぼ毎週利用したい	→ □□時から □□時まで
	3. 月に1~2回は利用したい	

問 21-1 問 21の(1)もしくは(2)で「3. 月に1~2回は利用したい」と回答した方についてうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 月に数回仕事が入るため
- 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 親や祖父母の介護や手伝いが必要のため
- リフレッシュのため
- その他()

問 22 「幼稚園」を利用されている方についてうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますが、希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(〇は1つ、□内に数字をご記入ください。)

※時間は24時間制(例:09時から18時)

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

→ □□時から □□時まで

問 22-1 問 22で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方についてうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- 週に数回仕事が入るため
- 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 親や祖父母の介護や手伝いが必要のため
- リフレッシュのため
- その他()

8. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 23 問 15(現在、幼稚園や保育園(園)などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。)で「1. 利用している」と回答した方についてうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと(〇は1つ、□は1つ)

1. あった ⇒ 問 23-1A

2. なかった ⇒ 問 24へ

問 23-1 問 23で「1. あった」と回答した方についてうかがいます。宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間にいった対応方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。(あてはまるものすべてに〇、□内に数字をご記入ください。)*半日程度の利用も1日としてください。

1年間の対応方法	日数(年間)
1. 父親が休んだ	□□日 ⇒ 問 23-2A
2. 母親が休んだ	□□日
3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
4. 父親または母親のどちらか就労していない方が子どもをみて	□□日
5. 前後席の保護者を利用した	□□日
6. ベビーシッターを利用した	□□日 ⇒ 問 23-4A
7. ファミリー・サポート・センター等を利用した	□□日
8. 仕方なく子どもだけで留守番させた	□□日
9. その他()	□□日

*親戚、ファミリー・サポート・センターによる育児・託児等への対応は実施してありません。

問 23-2 問 23-1で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」と回答した方についてうかがいます。その際、「できれば希望・前後席のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。日数についてもご記入ください。なお、希望・前後席のための事業等の利用には、一定の利用者負担があり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。(〇は1つ、□内に数字をご記入ください。)

- できれば希望保育施設等を利用したい → 年間 □□日
- できれば前後席保育施設等を利用したい → 年間 □□日
- 利用したいとは思わぬ() ⇒ 問 23-3A

※調査は、令和3年4月10日に合わせて新型コロナウイルス感染症の対応が実施されています。

問23-3 問23-2で「9. 利用したいとは思わない」と回答した方にうかがいます。
 そう思われる理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 育児・病後児を他人に委ねてもらうのは不安	
2. 地域の事業の質に不安がある	
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない	
4. 利用料が高くなる・高い	
5. 利用料がわからぬ	
6. 事が仕事を休んで対応できる	
7. その他 ()	

問23-4 問23-1で「9」を回答した方にうかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで着たい」と思われましたか。問23-1の「3」～「9」の日数のうち、仕事を休んで着たかった日数についてもご記入ください。
 (○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

1. できれば仕事を休んで着たい	年間	<input type="text"/>	日
2. 休んで着ることは非常に難しい			



9. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や
 宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

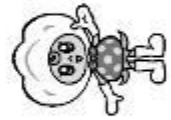
問24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通勤、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

利用している事業	日数(年間)
1. 一時預かり (利用など理由を問わずに保育所(園)などで一時的に子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の幼稚園預かり延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合はのみ)	<input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター (幼稚園が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日 → 問25へ
4. 夜間就労事業：トワイライトステイ (幼稚園施設等で休日・夜間、子どもを預かる事業)	<input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="text"/> 日
6. その他 ()	<input type="text"/> 日
7. 利用していない	→ 問24-1へ

※開庁、開庁前夜間開園等事業：トワイライトステイは、実施してあげません。

問24-1 問24で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
 現在、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 行に利用する必要がある	
2. 利用したい事業が地域にない	
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない	
5. 利用料が高くなる・高い	
6. 利用料がわからぬ	
7. 自分が事業の対象者になるかどうかわからぬ	
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからぬ	
9. その他 ()	



質問は、強み半分くらいです!

問27-1 問27で「5. 放課後子ども教室」と回答した方にうかがいます。

現在放課後子ども教室は、真岡小学校、真岡東小学校の2校で開設していますが、宛名のお子さんについて、対象2校以外の学校でも開設希望がありますか。また、開設中の2校に通学予定の方は開設を続けることへの希望をお答えください。(Oは1つ)

(1) 真岡小学校・真岡東小学校以外へ通学予定の方

1. 開設してほしい 2. 開設せずともよい

(2) 真岡小学校・真岡東小学校へ通学予定の方

1. 継続して開設してほしい 2. 継続せずともよい

問27-2 問27で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、土曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。(それぞれOは1つ、□内に数字をご記入ください) ※時間は24時間制(例:0|9|時から1|8|時)

(1) 土曜日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい ⇒ 利用したい時間帯 から 時まで

2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい から 時まで

3. 利用する必要はない

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい ⇒ 利用したい時間帯 から 時まで

2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい から 時まで

3. 利用する必要はない

問28 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。利用希望がある場合は、希望する時間帯もご記入ください。

(Oは1つ、□内に数字をご記入ください) ※時間は24時間制(例:0|9|時から1|8|時)

1. 低学年(1~3年生)の間は利用したい ⇒ 利用したい時間帯 から 時まで

2. 高学年(4~6年生)になっても利用したい から 時まで

3. 利用する必要はない

1.1. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、また、取得していない方はその理由をお答えください。

(それぞれOは1つ、取得していない理由はあてはまるものすべてにO)

(1) 母親 (Oは1つ)	(2) 父親 (Oは1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

(1) 母親	(2) 父親	取得していない理由(あてはまるものすべてにO)
1	1	職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2	仕事が増えた
3	3	(産休後に)仕事に早く復帰したかった
4	4	仕事に慣れるのが遅れそうだった
5	5	昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6	収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7	長男前(画)や認定こども園などに預けることができた
8	8	配偶者が育児休業制度を利用した
9	9	両側が無職、相互世帯の程度にみてもらえるなど、前妻を利用する必要があった
10	10	子育てや家事に専念するたため退職した
11	11	職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13	育児休業を取得できることを知らなかった
14	14	産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15	15	その他【母親】() その他【父親】()

問29-1 すべての方にうかがいます。

「育児休業給付*1」、「保険料免除*2」の仕組みをご存知でしたか。(Oは1つ)

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた

2. 育児休業給付のみ知っていた

3. 保険料免除のみ知っていた

4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

*1 「育児休業給付」とは、子どもが初回1歳になるまで育児休業給付が受けられる仕組み。育児休(画)に付ける保険料の滞りが行われなくなり、一定の条件を満足すれば何回も給付を受け取ることができます。

*2 「保険料免除」とは、子どもが3歳になるまでの育児休業期間に健康保険料及び厚生年金保険料の保険料が免除になる仕組み。労使の共同負担の軽減が実現する仕組みです。

問 29-2 問 29 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。

※該当しない方は問 30へ

育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 29-3へ 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 29-9へ 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 30へ
(2) 父親	1. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問 29-3へ 2. 現在も育児休業中である ⇒ 問 29-9へ 3. 育児休業中に離職した ⇒ 問 30へ

問 29-3 問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所(園)入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

なお、年度初めの認可保育所(園)入所を希望して、1月～2月頃に職場復帰、一時的に認可外保育所(園)に入所した場合などは選択肢「1」にあてはまります。

また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所(園)に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった
(2) 父親	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 29-4 問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうか。(それぞれ□内に実際と希望の復帰時期をご記入ください。)

(1) 母親	実際の復帰時期	□	歳	□	か月	希望の復帰時期	□	歳	□	か月
(2) 父親	実際の復帰時期	□	歳	□	か月	希望の復帰時期	□	歳	□	か月

問 29-5 問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取り戻ったかどうか。

(それぞれ□内に希望の時期をご記入ください。)

(1) 母親	□	歳	□	か月
(2) 父親	□	歳	□	か月

問 29-6 問 29-4 で「実際の復帰時期」と「希望の復帰時期」が異なる方にうかがいます。

希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

(1) 希望より早く復帰した方(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親	1. 希望する保育園(園)に入らなため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせたため 5. その他()
(2) 父親	1. 希望する保育園(園)に入らなため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせたため 5. その他()

(2) 希望より遅く復帰した方(それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親	1. 希望する保育園(園)に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職員の受け入れ態勢が整っていないため 5. 子どもをみてくれる人がいないため 6. その他()
(2) 父親	1. 希望する保育園(園)に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職員の受け入れ態勢が整っていないため 5. 子どもをみてくれる人がいないため 6. その他()

問 29-7 問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. 利用する必要がなかった(うちも短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)	⇒ 問 30へ ⇒ 問 29-8へ
(2) 父親	1. 利用する必要がなかった(うちも短時間勤務だった) 2. 利用した 3. 利用したかったが、利用しなかった(できなかった)	⇒ 問 30へ ⇒ 問 29-8へ

※短時間勤務制度とは、育児休業期間を延長し、勤務時間を短縮する制度で、育児・介護休業法では、3歳未満の子を養育する労働者が対象となる場合、1日の別定労働時間を原則として6時間とすることを申請しに実施されています。

問 29-7で「9」(利用しなかった、できなかった)と回答した方いらっしゃいます。
 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何か、
 (それぞれあてはまるものすべてに○)

(1) 母親	1. 短時間に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	()		
	2. 仕事が多かった			
(1) 母親	3. 短時間勤務にすると給与が減少される	()		
	4. 短時間勤務にするとは雇用前(国)の入社申請の優先順位が下がる			
	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した			
	6. 配偶者や祖父母等の経路など、子どもをみてくれる人がいた			
	7. 子育てや家事に専念するため退職した			
	8. 短時間に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)			
	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった			
	10. その他()			
	(2) 父親		1. 短時間に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	()
			2. 仕事が多かった	
3. 短時間勤務にすると給与が減少される				
4. 短時間勤務にするとは雇用前(国)の入社申請の優先順位が下がる				
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した				
6. 配偶者や祖父母等の経路など、子どもをみてくれる人がいた				
7. 子育てや家事に専念するため退職した				
8. 短時間に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)				
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった				
10. その他()				

問 29-9で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方いらっしゃいます。
 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得し
 ますか、または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	()
	2. 1歳になる前に復帰したい	
(2) 父親	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	()
	2. 1歳になる前に復帰したい	



12. 暮らしやお子さんのことについてうかがいます。

わたしたちの国では、7人に1人の子どもが貧困状態にあると言われています。国では、子どもの貧困対策を総合的に推進するため、平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されています。貴団市において、次期計画を策定するに当たり、子どもの貧困対策を総合的に推進する施策展開を検討するための基礎資料とするため伺いをいたします。

問 30 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 母親	1. よく過ごせていると思う	()
	2. まあまあ過ごせていると思う	
(1) 母親	3. あまり過ごせていないと思う	()
	4. 過ごせていないと思う	
	1. よく過ごせていると思う	
	2. まあまあ過ごせていると思う	
(2) 父親	3. あまり過ごせていないと思う	()
	4. 過ごせていないと思う	
	1. よく過ごせていると思う	
	2. まあまあ過ごせていると思う	

問 31 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お子さんと次のような体験をしましたか。
 (それぞれ○は1つ)

体験項目	ある		ない	
	金銭的な理由で	その他の理由で	時間的制約で	その他の理由で
ア. 1年に1回程度家族旅行に行く	1	2	3	4
イ. 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
ウ. お誕生日のお祝いをする	1	2	3	4
エ. クリスマスのプレゼントや正月のお返し	1	2	3	4
オ. 買い物(音楽、スポーツ、読書等)誘われる	1	2	3	4

問 32 お子さんは、平日に毎日朝食を食べていますか。(○は1つ)

1. いつも食べる(週に5日)	2. 食べる方が多い(週に3、4日)
3. 食べない方が多い(週に1、2日)	4. いつも食べない
5. わからない	

問 33 お子さんは、ふだん家族と一緒に食事をしていますか、平日と休日の「朝食」と「夕食」について、
 下の表(選択肢)から番号を選んでそれぞれの欄にご記入ください。
 (それぞれに選択肢を1つご記入ください。)

平日の食事		休日の食事	
朝食 (選択肢より1つ)	夕食 (選択肢より1つ)	朝食 (選択肢より1つ)	夕食 (選択肢より1つ)

1. 家族と一緒に食べる
 2. 兄弟(姉妹)だけで食べる
 3. ひとりで食べる
 4. 食べない

問 34 これまでの子育ての中で以下のようなことがあったり、思ったりしたことはありませんか。(それぞれ〇は1つ)

項 目	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない
① いらいらして子どもにあたってしまった	1	2	3	4
② しつけのいさぎがあった	1	2	3	4
③ つい感情的に子どもを叩いた	1	2	3	4
④ 感情的な言葉で怒鳴った	1	2	3	4
⑤ この子がいれば良かったら中閉ったことがある	1	2	3	4
⑥ 子育てから解放されたい	1	2	3	4
⑦ 子どもを育てるために我慢ばかりしている	1	2	3	4
⑧ 子育ては過酷だと感じる	1	2	3	4
⑨ 子育てにはあまり関心がない	1	2	3	4
⑩ 専業主婦としての絆が育生えに	1	2	3	4
⑪ この子を産んでよかったと思える	1	2	3	4
⑫ 子どもへの成長が楽しい	1	2	3	4
⑬ 自分が成長できたと思う	1	2	3	4

問 35 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(〇は1つ)

1. 大変だつがある	2. ややゆとりがある
3. さつう	4. やや苦しい
5. 大変苦しい	

問 36 全世帯員の前年度の収入合計額(税込)はおおよそいくらでしたか。(〇は1つ)

1. 50万円未満	2. 50~100万円未満
3. 100~150万円未満	4. 150~200万円未満
5. 200~300万円未満	6. 300~400万円未満
7. 400~500万円未満	8. 500~600万円未満
9. 600~700万円未満	10. 700~800万円未満
11. 800~900万円未満	12. 900~1,000万円未満
13. 1,000万円以上	

問 37 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、困ったことはありませんか。(それぞれ〇は1つ)

項 目	よくあった	ときどきあった	まれにあった	ほとんどなかった
A. 家族が必要とする食料を買えない	1	2	3	4
イ. 家族が必要とする衣類を買えない	1	2	3	4
ウ. 家賃や公共料金を払えない	1	2	3	4

問 38 ひより製菓店の保護者の方にはありますか。 ※ひより製菓店以外の方は問 39へ生活する上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 生活費に関すること	2. 教育費に関すること
3. 子どもの面会に関すること	4. 仕事(試用・転勤を含む)に関すること
5. 休日にすること	6. 子育て・教育に関すること
7. 健康(病気)に関すること	8. 結婚に関すること
9. 友人・隣人との付き合いに関すること	10. その他()
11. 他にない	

13. 子どもの虐待防止についてうかがいます。

問 39 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである
2. 毎年11月は児童虐待防止推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施している
3. 児童相談所全国共通ダイヤルの番号は「189」である
4. 児童虐待の通報先に申立済も書かれる
5. 児童虐待を疑った者は、通報する義務がある
6. 児童虐待を受けたと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある
7. 児童虐待の通報は匿名でもかまわない
8. 児童虐待の通報された者の情報は守られる

問 40 あなたのまわりには児童虐待または児童虐待の疑いのあるお子さんがいる場合、どこかに相談・通報しますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 市役所に相談・通報する	2. 子育て支援センターに相談・通報する
3. 幼稚園・保育所(園)等に相談・通報する	4. 児童相談所に相談・通報する
5. 警察に相談・通報する	6. どこに相談・通報するかわからない
7. その他()	

14. 少子化についてうかがいます。

問 41 現在のお子さんの人数、今後の出産予定の人数、理想とするお子さんの人数は何人ですか。(〇内に数字をご記入ください)

区分	人数
① 現在のお子さんの人数	人
② 今後の出産予定の人数	人
③ 理想とするお子さんの人数	人

問 42 問 41の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方がいらっしゃいます。あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。(〇は1つ)

1. 実現可能だと思う ⇒ 問 43へ	2. 実現することは難しいと思う ⇒ 問 42-1へ
---------------------	----------------------------

問 42-1 問 42 で「2. 表現することは難しいと思う」と回答した方いらっしゃいます。表現することが難しいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てのための経済的負担が大さいから
2. 子どもが母やとうやが不安になるなど、精神的負担が大さいから
3. 子育てのための身体的負担が大さいから
4. 仕事と子育ての両立が困難だから
5. 子育てより自分の時間を大切にしたいから
6. 子育てをすすめるための住宅事情が悪いから
7. 年齢があるいは職業上の理由から
8. その他 ()

問 43 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(○は1つ)

1. だだに解決すべき重要問題
2. できるだけ解決すべき重要な問題
3. 重要問題だが、致し方ないことだと思う
4. 特に問題を感しない

問 44 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 結婚に対する支援
2. 産前産後の支援
3. 母子保健のサービスの充実
4. 妊産婦・小児医療サービスの充実
5. 不妊治療に対する支援
6. 育児休暇の充実
7. 育児休業制度の普及・改善
8. 甲斐社や海外社などの産前に対する企業の配慮
9. 各種保育サービスの充実
10. 保育園(園)や幼稚園などの増加整備
11. 教育費の負担軽減
12. 出産に対する一時金の支給
13. その他 ()
14. 特になし

15. 子育てと仕事・子育てと介護(ダブルケア)についてうかがいます。

問 45 あなたは、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることとは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族の理解が得られない
2. 配偶者(パートナー)が家事・育児に対して非協力的
3. 両立の理解が得られない
4. 子育てとの両立
5. 介護との両立
6. 希望する保育園(園)などに預けられない
7. 子どもと接する時間が短い
8. 自分の体調が悪い時、みてくれる人がいない
9. 子どもの命や健康の悪化への対応
10. 自分の自由な時間がもてない
11. 特に大変だと感じることはない
12. その他 ()

問 46 あなたは、「ダブルケア*」という言葉を知ったことはありますか。(○は1つ)

1. ある
 2. ない
- *「ダブルケア」とは、育児と同時に親類や地域の介護を担うことをいいます。

問 47 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。(○は1つ)

1. 現在行っている
2. 現在行っていないが、過去に経験がある
3. 現在行っていないが経験もなく、将来に行う可能性がある
4. 過去に経験もなく、将来に行う可能性もない

問 48 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援策が必要だと思いますか。(○は3つまで)
※特にあてはまると思う選択肢を3つまでお選びください。

1. 子育て相談の充実
2. 介護サービスの充実
3. 子育て・介護の一体的な相談窓口の開設
4. 子育て費用の負担軽減
5. 介護費用の負担軽減
6. 子育て・介護に関する情報提供の充実
7. 地域でダブルケアの当事者が集える場所
8. ダブルケアの対応に関する手引書
9. その他 ()

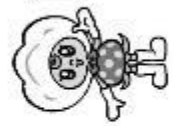
16. 子育て全般についてうかがいます。

問 49 子育てに関して、不安や負担などを感ずることはありますか。(○は1つ)

1. まったく感しない
2. あまり不安や負担感とは感じない
3. なんとかなく不安や負担を感ずる
4. 非常に不安や負担を感ずる
5. なんとかしえない

問 50 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 新卒や保育・児童に関すること
2. 食費や学費に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの遊遊を十分にできないこと
6. 話し相手や相談相手がいけないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 友だちづきあひ(いじめや差別)に関すること
10. 登壇退会・不登壇などに属すること
11. 子育てに関する配偶者・パートナーの能力が低いこと
12. 配偶者・パートナーと子育てに關して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人の見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てをまかすてくれる人がいないこと
15. 子どもを叱りすぎているような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話を焼かたりしてしまふこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18. その他 ()
19. 特にない



質問は、あと少しです!

問 51 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。(○は1つ)

1. 楽しいと感じることが多い	⇒ 問 51-1へ
2. 楽しいと感じることが多いと感じることが同じくらい	
3. 辛いと感じることが多い	
4. その他 ()	⇒ 問 52へ
5. わからない	

問 51-1 問 51で「1」～「3」と回答した方にうかがいます。

問 51で「1」を選んだ方は、子育てをすることでどのような英産、対策が有効と感じていますか。また、「2」、「3」を選んだ方は、自分にとって必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 性別における子育て支援の充実	2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワークづくり	4. 地域における子どもの活動場の充実
5. 妊娠・出産に対する支援	6. 母乳・乳児の健康に対する支援
7. 子どもの教育環境	8. 子育てしやすい住居・まちの環境面の充実
9. 仕事と家庭生活の両立	10. 子どもを犯罪に誘った犯罪・事故の懲罰
11. 要保護児童に対する支援	12. その他 ()

問 52 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。(○は1つ)

1. 十分に入手できている	2. ある程度入手できている	3. あまり入手できていない
4. ほとんど入手できていない	5. 入手する必要がない	

問 53 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 相談 (親、きょうだいなど)	2. 知人や友人
3. 近所の人	4. 民生委員・児童委員
5. 保健所、保健所 (園)、助産所など	6. 子育て支援センター
7. 子育てサークルの仲間	8. 市の子育て相談担当窓口
9. 市のホームページや広報・パンフレット	10. テレビ、ラジオ、新聞
11. インターネット	12. 市販の入手手段がわからない
13. 情報の入手先がない	14. 情報の入手手段がわからない
15. その他 ()	



問 54 あなたは、家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることは何ですか。(○は3つまで)
※特にあてはまらぬと思う選択肢を3つまでお選びください。

1. 近くに遊び場が多い
2. 雨の日の遊ぶ場所が少ない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 近所などの環境が充実していない
5. 不衛生である
6. いっつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が混雑である
11. 遊び場に行っても子どもと同じくらい遊び場が少ない
12. その他 ()
13. 特に感じることはない

問 55 子育てに関して、地域の人にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもや親子連れに対して、気軽にあいさつしたり、声をかけて欲しい
2. 子どもが危険なことや、悪いことをしたときには注意してほしい
3. 話し相手や相談相手になって欲しい
4. 用事があるときなどに、子どもを預かって欲しい
5. 家や子どもの世話を手伝って欲しい
6. 子どもと一緒に遊んだり、絵本を読んだりして欲しい
7. 親が参加する地域のイベント等に参加したり、企画・運営して欲しい
8. 子育てに關してあまり干渉しないで欲しい
9. その他 ()
10. 特にない

問 56 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事 (育児) 時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」するものと、「現実」での優先度ほどのようになっていますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 希望	1. 仕事時間を優先 2. 家事 (育児) 時間を優先 3. プライベートを優先 4. その他 ()
(2) 現実	1. 仕事時間を優先 2. 家事 (育児) 時間を優先 3. プライベートを優先 4. その他 ()

問 57 真岡市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(○は1つ)

満足度が低い	← (標準)	→ 満足度が高い		
1	2	3	4	5

2. 小学生の調査票

1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の郵便番号を記入してください。(口内に数字をご記入ください)

321- □□□□

2. 対向の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの現在の学年をお答えください。(○は1つ)

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問4 この調査票にご回答いただいている方の配属関係についてお答えください。(○は1つ)

1. 配属がない 2. 配属はない

問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(○は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父 5. その他()

問6 宛名のお子さんが妊娠の際、または生まれた時に真岡市にお住まいでしたか。(○は1つ)

1. はい ⇒ 問7へ 2. いいえ ⇒ 問6-1へ

問6-1 問6で「2. いいえ」と回答した方にうかがいます。

真岡市に輸入した理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

1. 買い物など生活するのに便利	2. 専員や住居購入費が安い
3. 交通の便が良い	4. 五感刺激が充実している
5. 自然環境が良い	6. 保育施設や子育て支援サービスが充実している
7. 教育環境が良い	8. 親族が真岡市に住んでいる
9. 公共施設や道路・公園などが整っている	10. その他()

真岡市子ども・子育て支援事業二一ス調査票

【小学生の保護者の皆さまへ】

皆さまには、口頭から市役所に理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく新制度がはじまり、真岡市においても、早急に変化する二一スに対応するため、「子ども子育てに関する5年間の支援事業計画」を策定し、子育て支援サービスの充実を図ってまいりました。

この際、「子ども子育てに関する支援事業計画」の発出しにあたり、子育て支援のための証書やサービスの利用等について、現状とご希望をお聞かせいただくためにアンケート調査を実施することになりました。ご回答いただいた内容は、今後の真岡市の子ども・子育て支援のあり方を決めるに於ける貴重な資料として、「真岡市子ども・子育て会議」において検討します。また、これ以外の目的には一切利用いたしませんので、ご安心ください。

大変お忙しい中、ご多忙のこととは存じますが、厚答をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

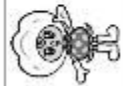
平成31年1月

真岡市長 石坂 真一

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、平成30年12月1日現在で抽出しています。
2. ご記入は、宛名のお子さんの保護者の方にお願いいたします。
3. ご回答は、速報用の番号・記号に○をついていただく場合と、数字をご記入いただく場合がございます。また、「その他」を選択した場合には、()内に具体的な内容をご記入ください。
4. 時間を数字で記入いただく場合、24時間制(例:09時~18時)でご記入ください。
5. 数字によっては、ご回答いただく方が限られる場合がございます。注意書きや封印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問へお進みください。
6. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手紙ですが、2月1日(金)までに同封の通信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付や封筒の記入は必要ありません。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



真岡市 健康福祉部 こども家庭課
 電話:0285-83-8131(直通)
 FAX:0285-82-2340
 Eメール:kodomokatei@city.moka.lg.jp



3. 子育て環境についてうかがいます。

問7 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親類にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の時に祖父母等の親類にみてもらえる
3. 日常物に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の時には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

問8 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいいますか。

また、相談できる場所はありますか。(○は1つ)

1. いる/ある ⇒ 問9-1A
2. いない/ない ⇒ 問9A

問9-1 問8で「1. いる/ある」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できるのは、誰(どこ)ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 配偶者(夫または妻)
2. 父母(子どもの祖父母)
3. 親戚(兄弟姉妹含む)
4. 友人や知人
5. 近所の人
6. 隣近所の人
7. 学校
8. 放課後児童クラブ
9. 放課後等デイサービス
10. 民間児童館
11. NPO
12. 児童発達支援センター(前木町)
13. 児童福祉協議センター(新藤町)
14. 市町村子育て世代包括支援センター
15. 民生委員・児童委員
16. かかりつけの医師
17. 中の子育て相談担当窓口
18. その他【例】ベビーシッター
()

4. 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問9 現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。(○は1つ)

(1) 母親の状況について【父子家庭の場合、記入は不要です】

1. フルタイム^{※1}で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(1) ①-④ (1)で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(□内に数字をご記入ください)

※就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制【例：帰宅時間 11時】

① 就労日数・就労時間	1週当たり	日 / 1日当たり	時	分
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	時 / 帰宅時間	分	分

(2) 父親の状況について【母子家庭の場合、記入は不要です】

1. フルタイム^{※1}で就労しており、産休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労しているが、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

※1 フルタイム：1週5日程度・1日8時間程度の就労

※2 パート・アルバイト等：フルタイム以外の就労

(2) ①-④ (2)で「1」～「4」(就労している)と回答した方にうかがいます。

1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(就業時間を含む)」、「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。(□内に数字をご記入ください)

※就労日数や就労時間が一定でない場合、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は24時間制【例：帰宅時間 11時】

① 就労日数・就労時間	1週当たり	日 / 1日当たり	時	分
② 家を出る時間・帰宅時間	家を出る時間	時 / 帰宅時間	分	分

問10 問9の(1)または(2)で「3」、「4」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方にうかがいます。

フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

(1) 母親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けること希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けること希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問11 問9の(1)または(2)で「5」、「6」(就労していない)と回答した方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

(1) 母親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一輩下の子どもが 歳になったらどこに就労したい

3. すぐでうち、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する ア、フルタイム
 イ、パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)
 (1日当たり 日 / 1日当たり 時間)

(2) 父親

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)

2. 1年より先、一輩下の子どもが 歳になったらどこに就労したい

3. すぐでうち、もしくは1年以内に就労したい

→ 希望する ア、フルタイム
 イ、パートタイム、アルバイト等 (「ア」以外)
 (1日当たり 日 / 1日当たり 時間)

問12 問11の(1)または(2)で「2」、「3」(就労したい)と回答した方にうかがいます。就労希望がありながら、現在働いていない主な理由は何ですか。(○は1つ)

(1) 母親

1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できない

2. 働きたがら子育てできる適当な仕事がない

3. 自分の知識、能力にあう仕事がない

4. 家族の考えや関係の理解が得られない(専ら子育てに専念している)

5. その他 ()

(2) 父親

1. 放課後児童クラブなどのサービスが利用できない

2. 働きたがら子育てできる適当な仕事がない

3. 自分の知識、能力にあう仕事がない

4. 家族の考えや関係の理解が得られない(専ら子育てに専念している)

5. その他 ()

5. 放課後や休日の過ごし方についてうかがいます。

放課後児童クラブとは…

地区によって学童保育などと併設されています。保護者が就労等により親が監視しにくい場合などに、交際員の下、子どもたちの生活を監視するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用枠があります。

放課後子ども教室とは…

地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化共催活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

放課後等サービスとは…

学校や学童中の算がりのある児童に対して、放課後や週末の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を積極的に行う取組です。積極的利用にあたっては、一定の利用枠があります。

問13 宛名のお子さんは、平日の放課後や休日等は、どのように過ごしていますか、下の表(選択肢)から主な番号を3つ選んでそれぞれ欄にご記入ください。

平日の放課後の過ごし方 (3つまで)	土曜日の過ごし方 (3つまで)	日曜日の過ごし方 (3つまで)
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

1. 学校にいる
2. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごす
3. 放課後子ども教室で過ごす
4. 放課後等サービスで過ごす
5. 保護者や祖父祖母等の家族・親戚(大人)と過ごす
6. ベビーシッターなどと過ごす
7. 家で兄弟姉妹と子どもだけで過ごす
8. 家でひとりで過ごす
9. 友だちの家で過ごす
10. 公園などで友だちと遊ぶ
11. 真面目な部活などの公共施設で過ごす
12. クラブ活動や体験活動(子どもまやスポーツ施設など)に参加している
13. 学習塾や習いごとに行っている
14. その他

問14 宛名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ(学童保育)を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している ⇒ 問14-1A 2. 利用していない ⇒ 問14-3A

問14-1 問14で「1. 利用している」と回答した方にうかがいます。

宛名のお子さんは、現在、放課後児童クラブ(学童保育)の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由についてお答えください。(口内に数字をご記入ください。○は1つ)

1. 月当たりの利用日数 日 ⇒ そのうち土曜日の利用の有無 1. ある 2. ない

問14-2 問14で「1. 利用している」と回答した方になります。できれば利用したい1日当たりの希望の時間は、何時間（何時から何時まで）ですか。（口内に数字をご記入ください。※時間は24時間制（例：0|9|時～1|8|時）

希望の時間	1日当たり	<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	<input type="text"/>
-------	-------	----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----------------------

問14-3 問14で「2. 利用していない」と回答した方になります。

利用していない主な理由は何ですか。（○は1つ）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、

1. 育児が忙しんでいるから
2. 育児しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
3. 育児しているが、放課後児童クラブを知らなかったから
4. 育児しているが、近くに放課後児童クラブがないから
5. 育児しているが、放課後児童クラブに空きがないから
6. 育児しているが、放課後児童クラブの開始時間が短いから
7. 育児しているが、利用料が高くなるから
8. 育児しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
9. 育児しているが、放課後の対応が難しいから、子どもだけでも大丈夫だと知らずから
10. 育児しているが、他の施設に預けているから
11. その他

問14-4 問14で「2. 利用していない」と回答した方になります。

お子さんについて、今後、放課後児童クラブ（学童保育）を利用したいとお考えですか、また、利用したい場合に土曜日の利用希望はありますか。（それぞれ○は1つ、該当する口内に数字をご記入ください）

1. 利用したい → 日くらい → うち土曜日の利用希望 1. ある 2. ない

1日当たり 時間 時～ 時

2. 今後利用しない

問14-5 問14-4で「1. 利用したい」と回答した方になります。

利用したい主な理由は何ですか。（○は1つ）

お子さんの身の回りの世話を主にしている方（主な保護者）が、

1. 育児が忙しんでいる
2. 就労予定がある／求職中である
3. 専業主婦・専業主夫など介護しなければならない
4. 病気や障害が抱えている
5. 就労しているが、子どもの就労を促すための働きがい
6. その他

問15 宛名のお子さんについて、現在、放課後子ども教室を利用していますか。（○は1つ）

※現在放課後子ども教室は、真岡小学校・真岡東小学校で開設しています。

1. 利用している → 問15-1A 2. 利用していません → 問15-2A

問15-1 問15で「1. 利用している」と回答した方になります。

利用している理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 主な保護者が就労している
2. 主な保護者が就労予定がある／求職中である
3. 地域の方と交流できる機会がある
4. スポーツ・文化芸術活動などの体験ができるから
5. 主な保護者が専業主婦・専業主夫など介護しなければならない
6. 主な保護者が病気や障害が抱えている
7. 主な保護者が学生である
8. その他

問15-2 問15で「2. 利用していない」と回答した方になります。

利用していない主な理由は何ですか。（○は1つ）

1. 主な保護者が就労していないから
2. 放課後子ども教室を知らなかったから
3. 子どもが放課後子ども教室が開設していない学校に通っているから
4. 放課後子ども教室が利用できない時間帯があるから
5. 子どもが忙しんでいるから
6. 子どもはほかの施設に預けているから
7. その他

問15-3 問15で「2. 利用していない」と回答した方になります。

お子さんについて、今後放課後子ども教室の利用意向はありますか。（○は1つ）

※開設されていない小学校へ通学されているおさんは、開設した場合の利用意向をお答えください。

1. 利用意向がある
2. 利用意向はない

問16 お子さんについてうかがいます。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。（○は1つ、該当する口内に数字をご記入ください）

1. 放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい
2. 放課後子ども教室を利用したい
3. クラブ活動など習い事をさせたい
4. 私立を希望するサービスは特になし
5. その他



6. 宛名のお子さんの病気の対応についてうかがいます。

問 17 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。(○は1つ)

1. あった ⇒ 問17-1へ 2. なかった ⇒ 問18へ

問 17-1 問17で「1. あった」と回答した方にかがいます。

宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間にを行った対応方法はどれですか。それぞれの日数もご記入ください。

(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。) ※平日程度の利用も1日としてください。

1年間の対応方法	日数 (年間)
1. 父親が休んだ	日 <input type="text"/> <input type="text"/> ⇒ 問17-2へ
2. 母親が休んだ	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
3. (同居者を含む) 祖母・叔人に子どもを預けてもらった	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもを預けた	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
5. ベビーシッターを利用した	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
6. ファミリー・サポート・センター*(会員登録による市民の一時預かりを中心とした相互援助活動) を利用した	日 <input type="text"/> <input type="text"/> ⇒ 問18へ
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
8. その他()	日 <input type="text"/> <input type="text"/>

※児童、ファミリー・サポート・センターによる毎月・毎週は児童への対応は実施してありません。

問 17-2 問17-1で「1」から「3」と回答した方にかがいます。

その際、「できれば施設を利用したい」と思われましたか、日数についてもご記入ください。(○は1つ、口内に数字をご記入ください。)

1. できれば状況に応じて施設等を利用したい ⇒ 年間 日
 2. 利用したいとは思わない

※児童、真珠市では2019年4月開校に向けて、小学生も利用できる幼児保育施設の整備を進めています。



7. 一時預かりや宿泊を伴う一時預かりの利用についてうかがいます。

問 18 この1年間で、私用、親の通院、不定期の就労等の目的でお子さんをお家以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか、1年間の利用日数(おおよそ)もご記入ください。

(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)
 ※平日程度も1日としてください。

1. ある

	年間	日
ア. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や孫の送り迎え等)、リフレッシュ目的	年間 <input type="text"/> <input type="text"/>	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
イ. 祖父母、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や孫の通院等	年間 <input type="text"/> <input type="text"/>	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
ウ. 不定期の就労	年間 <input type="text"/> <input type="text"/>	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
エ. その他()	年間 <input type="text"/> <input type="text"/>	日 <input type="text"/> <input type="text"/>

2. ない

問 19 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いつか、月当たりでお答えください。(口内に数字をご記入ください。)

月 日 くらい

問 20 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に預けてもらわなければならないこと(預け先が見つからなかった場合も含みます)はありましたか。あった場合は、この1年間の対応方法を選択し、それぞれの日数もご記入ください。(○は1つ、該当する記号に○、該当する口内に数字をご記入ください。)

預けた有無	1年間の対応方法	日数 (年間)
	ア. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	日 <input type="text"/> <input type="text"/> ⇒ 問20-1へ
	イ. 保護サービス等を利用した	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
1. あった	ウ. 仕方なく子どもを同行させた	日 <input type="text"/> <input type="text"/>
	エ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日 <input type="text"/> <input type="text"/> ⇒ 問21へ
	オ. その他()	日 <input type="text"/> <input type="text"/>

2. なかった

※ショートステイを実施している施設、認可外保育園、ベビーシッターなど

問 20-1 問20で「ア.(同居者を含む) 親族・知人に預けてもらった」と回答した方にかがいます。その場合の状況はどうでしたか。(○は1つ)

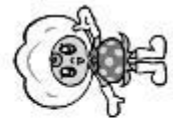
1. 非常に多かった。 2. どちらかといえば多かった 3. 時に大変ではなかった

8. 子育て支援事業についてうかがいます。

問 21 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

事業	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① 家庭訪問に関する学校・講座	1	2	1	2	1	2
② 教育相談センター・教育相談室	1	2	1	2	1	2
③ 民間児童館	1	2	1	2	1	2
④ ファミリー・リポート・センター	1	2	1	2	1	2
⑤ 家庭教育相談室 (子ども家庭総合相談室)	1	2	1	2	1	2
⑥ 中が併行している子育て情報誌 (おおか子育てガイドブック)	1	2	1	2	1	2
⑦ 調性の子とニオンリーダー会 (遊びや食育などを企画し、市内の親子と一緒に子育てや家庭教育支援活動を行う団体)	1	2	1	2	1	2
⑧ 育児相談	1	2	1	2	1	2
⑨ 育児相談	1	2	1	2	1	2
⑩ 休日保育	1	2	1	2	1	2
⑪ 短期入所生活体験事業・ショートステイ (児童養育施設などで一定期間、子どもを保護する事業)	1	2	1	2	1	2

※各質問による市街の一画ばかりを平均とした相互比較活動



質問は、強悍分くらいです！

9. 暮らしやお子さんのことについてうかがいます。

わたしたちの国では、7人に1人の子どもが貧困状態にあるとされています。国では、子どもの貧困対策を総合的に推進するため、平成 26 年7月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されています。岡岡市において、次期計画を策定するに当たり、子どもの貧困対策を総合的に推進する施策展開を検討するための基礎資料とするため伺いました。

問 22 あなたは、お子さんと十分な時間を過ごせていると思いますか。(それぞれ○は1つ)

	よく過ごせていると思う	まあまあ過ごせていると思う	あまり過ごせていないと思う	過ごせていないと思う
(1) 母親	1	2	3	4
(2) 父親	1	2	3	4

問 23 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お子さんと次のような体験をしましたが。(それぞれ○は1つ)

体験項目	ある	ない
ア. 1年に1回程度家族旅行に行く	1	2
イ. 遊園地やテーマパークに行く	1	2
ウ. お誕生日の祝いをする	1	2
エ. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉	1	2
オ. 面白い事(習字、スポーツ、読書等)を習わせる	1	2

問 24 お子さんは、平日に毎日朝食を食べていますか。(○は1つ)

	食べる	食べない
1. いつも食べる (週に5日)	1	2
2. 食べる日が多い (週に3, 4日)	1	2
3. 食べない日が多い (週に1, 2日)	1	2
4. いつも食べない	1	2
5. わからない	1	2

問 25 お子さんは、ふだん家族と一緒に食事をしていますか。平日と休日の「朝食」と「夕食」について、下の表(選択肢)から番号を選んでそれぞれの欄にご記入ください。(それぞれに選択肢を1つご記入ください)

	平日の食事		休日の食事	
	朝食 (選択肢より1つ)	夕食 (選択肢より1つ)	朝食 (選択肢より1つ)	夕食 (選択肢より1つ)
1. 家族と一緒に食べる				
2. 兄弟(兄妹)だけで食べる				
3. ひとりで食べる				
4. 食べない				

問 26 これまでの子育ての中で以下のようなことがあったり、思ったりしたことはありませんか。(それぞれ○は1つ)

項 目	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない
① いらいらして子どもにあたってしまった	1	2	3
② しつけのいきまぎがあった	1	2	3
③ つい衝動的に子どもを叩いた	1	2	3
④ 感情的な言葉で怒鳴った	1	2	3
⑤ この子がいるのがつらかったり思ったことがある	1	2	3
⑥ 子育てから手を引かれたい	1	2	3
⑦ 子どもを育てるために我慢ばかりしている	1	2	3
⑧ 子育てでは我慢ばかりが多い	1	2	3
⑨ 家族としての味が薄くなった	1	2	3
⑩ この子を産んでよかったと思える	1	2	3
⑪ 子どもの成長が楽しい	1	2	3
⑫ 自分が成長できたと思う	1	2	3

問 27 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのように感じていますか。(○は1つ)

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある
3. ゆつと	4. やや苦しい
5. 大変苦しい	

問 28 全世帯員の前年度の収入合計額(税込)はおおよそいくらでしたか。(○は1つ)

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満	4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満	6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満	8. 500～600万円未満
9. 600～700万円未満	10. 700～800万円未満
11. 800～900万円未満	12. 900～1,000万円未満
13. 1,000万円以上	

問 29 あなたのご家族では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、困ったことはありませんか。(それぞれ○は1つ)

項 目	よくあった	ときどきあった	まれにありました	まったくなかった
ア、家族が必要とする食料を買えない	1	2	3	4
イ、家族が必要とする衣類を買えない	1	2	3	4
ウ、娯楽や公共料金を払えない	1	2	3	4

問 30 ひとり親世帯の保護者の方にうかがいます。※ひとり親世帯以外の方は問 31へ生活する上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 生活費に関すること	2. 教育費に関すること
3. 親子の会合に関すること	4. 仕事(就業・転職を含む)に関すること
5. 住居に関すること	6. 子育て・教育に関すること
7. 健康(病気)に関すること	8. 結婚に関すること
9. 友人・隣人との付き合いに関すること	10. その他()
11. 他にない	

1.0. 子どもの虐待防止についてうかがいます。

問 31 児童虐待について、あなたが知っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 「オレンジリボン」は、児童虐待防止のシンボルマークである
2. 毎年11月は児童虐待防止推進月間であり、オレンジリボンキャンペーンを実施している
3. 児童相談所全国共通ダイヤルの首字は「189」である
4. 児童虐待の通報先に市役所も含まれる
5. 児童虐待を先見した者は、通報する義務がある
6. 児童虐待を受けたりと思われる子どもを発見した者は、通報する義務がある
7. 児童虐待の通報は匿名でも構わない
8. 児童虐待の通報をした者が保護者守られる

問 32 あなたのおわりに児童虐待または児童虐待の疑いのあるお子さんがいる場合、どこかに相談・通報しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 河内府に相談・通報する	2. 子育て支援センターに相談・通報する
3. 幼保福・児童防(衛)等に相談・通報する	4. 児童相談所に相談・通報する
5. 警察に相談・通報する	6. どこに相談・通報するかわからない
7. その他()	

1.1. 少子化についてうかがいます。

問 33 現在のお子さんの人数、今後の出産予定の人数、理想とするお子さんの人数は何人ですか。(□内に数字をご記入ください)

区分	人数	
① 現在のお子さんの人数	□	人
② 今後の出産予定の人数	□	人
③ 理想とするお子さんの人数	□	人

問 34 問 33 の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方がいます。あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。(○は1つ)

1. 実現可能だと思う ⇒ 問 35へ	2. 実現することは難しいと思う ⇒ 問 34-1へ
---------------------	----------------------------

問 34-1 図 34 で「2. 美観することは難しいと思う」と回答した方にうかがいます。

実観することが難しいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子育てのための経済的負担が大きいため
2. 子どもが将来どう育つか不安になるなど、精神的負担が大きいため
3. 子育てのための身体的負担が大きいため
4. 仕事と子育ての両立が困難だから
5. 子育てより自分の時間を大切にしたいから
6. 子育てをすすめるための生活事情が悪いから
7. 年齢相応の健康上の理由から
8. その他 ()

問 35 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(○は1つ)

1. ただちに解決すべき重要な問題
2. できるだけ解決すべき重要な問題
3. 重要な問題だが、取り方ないことだと思う
4. 何に問題を感じない

問 36 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 結婚に対する支援
2. 労働時間の短縮
3. 母子健康のサービスの充実
4. 妊娠時・産後・育児サービスの充実
5. 不妊治療に対する支援
6. 育児休暇の充実
7. 育児休業制度の普及・普及
8. 単身社員や海外赴任などの活動に対する企業の配慮
9. 各種保育サービスの充実
10. 保育園(園)や幼稚園などの費用軽減
11. 教育費の負担軽減
12. 出産に対する一時的な支援
13. その他 ()
14. 特になし

1.2. 子育てと仕事・子育てと介護(ダブルケア)についてうかがいます。

問 37 あなたは、子育てと仕事を両立する上で大変だと感じることがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 要領の理解が得られない
2. 配偶者(パートナー)が家事・育児に対して非協力
3. 周囲の理解が得られない
4. 子育てとの両立
5. 介護との両立
6. 希望する保育園(園)などに預けられない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. 自分の体調が悪い時、みてくれる人がいない
9. 子どもの急な体調の変化への対応
10. 自分の自由な時間がない
11. 特に大変だと感じることはない
12. その他 ()

問 38 あなたは、「ダブルケア」という言葉を聞いたことはありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

※「ダブルケア」とは、育児と介護の両方を指すこととされています。

問 39 現在、あなたは、子育てと介護を同時に行っていますか。(○は1つ)

1. 現在行っている
2. 現在行っていないが、過去に経験がある
3. 現在行っていないが将来行う可能性がある
4. 過去に経験がなく、将来行う予定はない

問 40 あなたは、ダブルケアに関して、どのような支援が必要だと思いますか。(○は3つまで)

※特にあてはまると思う選択肢を3つまでお選びください。

1. 子育て施設の充実
2. 介護サービスの充実
3. 子育て・介護の一体的な相談窓口の開設
4. 子育て費用の負担軽減
5. 介護費用の負担軽減
6. 子育て・介護に関する情報提供の充実
7. 地域でダブルケアの当事者が集える場所
8. ダブルケアの対応に関する手引き
9. その他 ()

1.3. 子育て全般についてうかがいます。

問 41 子育てに関して、不安や負担などを感じることはありませんか。(○は1つ)

1. まったく感じない
2. あまり不安や負担などは感じない
3. なんとなく不安や負担を感じる
4. 非常に不安や負担を感じる
5. なんともしえない

問 42 子育てに関して、日常悩んでいること、または悩むことになることはどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 育児や教育・発達に関すること
2. 家事や家族に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
5. 子どもとの向き合い方がわからないこと
6. 話し相手や相談相手がないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 近所づきあい(いじめや虐待)に関すること
10. 言葉遣い・不登校などに関すること
11. 子育てに関しての配偶者・パートナーの協力が得られないこと
12. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
13. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・性別などの周りの見目が気になること
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
15. 子どもと向き合っていないような気がする
16. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
17. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申込み方法がよくわからないこと
18. その他 ()
19. 特になし

問 43 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じることが多いと思いますか。(○は1つ)

1. 楽しいと感じることの方が多い	⇒ 問 43-1へ
2. 楽しいと感じること少ないと感じることが同じくらい	
3. 辛いと感じることの方が多い	⇒ 問 44へ
4. その他()	
5. わからぬ	

問 43-1 問 43 で「1」～「3」と回答した方にうかがいます。

問 43 で「1」を選んだ方は、子育てをすすめる中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。また、「2」、「3」を選んだ方は、自分にとって必要なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

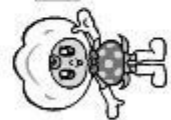
1. 地域における子育て交流の充実	2. 保育サービスの充実
3. 子育て支援のネットワーキングづくり	4. 地域における子どもたちの活動拠点の充実
5. 妊娠・出産に対する支援	6. 母親・乳児の健康に対する支援
7. 子どもの教育関係	8. 子育てしやすい住居・地域の整備
9. 仕事と家庭生活の両立	9. 子どもを如欲にした犯罪・事故の軽減
11. 専従職に就くための支援	12. その他()

問 44 子育てに関する情報をどの程度入手できていますか。(○は1つ)

1. 充分に入手できている	2. ある程度入手できている	3. あまり入手できていない
4. ほとんど入手できていない	5. 入手する必要がない	

問 45 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 雑誌(誌、きょうじいなど)	2. 知人や友人
3. 近所の人	4. 民生委員・児童委員
5. 学校	6. 保護者児童クラブ(学童保育)
7. 相談センターサービス	8. 子育てサークルの仲間
9. 市の子育て関連担当窓口	10. 市のホームページや広報・パンフレット
11. テレビ、ラジオ、新聞	12. インターネット
13. 市の子育て情報誌・育児書	14. 情報の人手丸がない
15. 情報の入手手段がわからない	16. その他()



質問は、あと少しです！

問 46 あなたは、家の近くの子ども遊び場について、日頃感じていることは何ですか。(○は3つまで)
※特にあてはまると思う選択を3つまでお選びください。

1. 近くに遊び場がない
2. 木の目の遊べる遊具がない
3. 思い切り遊ばすために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも開放されていて新しい感じがある
7. 遊具などの設置が古くて旧様である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が悪くて、安心して遊べない
10. 遊び場周辺の道路が危悪である
11. 遊び場に行っても子どもと同じくらい遊べる時間がない
12. その他()
13. 特に感じることはない

問 47 子育てに関して、地域の人のようなこと望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもや親子連れに対して、無邪気にあいざつしたり、声をかけて欲しい
2. 子どもが足踏などや、悪いことをしたときには注意をして欲しい
3. 話し相手や相談相手になって欲しい
4. 用事があるときなどに、子どもを預かって欲しい
5. 夢や子どもの世話を手伝って欲しい
6. 子どもと一緒に遊んだり、絵本を読んだりして欲しい
7. 親子が参加する地域のイベント等に参加したり、企画・運営して欲しい
8. 子育てに関してあまり干渉しないで欲しい
9. その他()
10. 特にない

問 48 あなたはの生活の中で、「仕事時間」と「家事(育児)時間」、「プライベートの生活時間」の優先度について、「希望」するものと、「現実」での優先度はどのようになっていますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 希望	1. 仕事時間を優先 2. 家事(育児)時間を優先 3. プライベートを優先 4. その他()
(2) 現実	1. 仕事時間を優先 2. 家事(育児)時間を優先 3. プライベートを優先 4. その他()

問 49 真岡市における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(○は1つ)

満足度が低い	← (標準) →	満足度が高い		
1	2	3	4	5

3. 中学生の調査票

1. あなたご自身のことについてうかがいます。

問1 あなたの現在の学年をお書きください。(○は1つ)

1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生

問2 あなたの性別をお書きください。(○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. 答えたく無い

問3 あなたと同居している方をお書きください。また、同居している家族全員の人数をご記入ください。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹
4. 祖母 5. 祖父 6. その他()

同居している家族全員の人数 人

2. 友だちのことについてうかがいます。

問4 あなたが一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。(○は1つ)

1. 学校の友だち 2. 学校外の友だち
3. 同じ年の良い友だちはいない 4. その他()

問5 あなたと友だちの関係について、どのように思いますか。(それぞれ○は1つ)

※もっとも近いものをお書きください。

項目	とても そう思う	とても 思わない	まったく 思わない	
① 友だちとたくさん遊んでいる	1	2	3	4
② 友だちと盛り上がっているの気になる	1	2	3	4
③ 友だちを尊敬している	1	2	3	4
④ 友だちと意見が違っていると不安になる	1	2	3	4
⑤ 友だちと違う意見でも自分の意見は言う	1	2	3	4
⑥ 友だちに自分の悩みを相談できる	1	2	3	4



真岡市子ども・子育て支援事業二一ス調査票 【中学生の皆さまへ】

皆さまには、日頃から市政にご理解ご協力をお願いいたします。特にありがとうございます。
平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく新制度がはじまり、真岡市においても、給えず
変化する二一スに迅速に対応するため、「子ども子育てに関する5年間の支援事業計画」を策定し、子育て
支援サービスの充実を図ってまいりました。

この際、「子ども子育てに関する支援事業計画」の見直しにあたり、子育て支援のための施設やサービス
の利用等について、現状とご希望をお聞かせいただくためにアンケート調査を実施することになりました。
ご回答いただいた内容は、今後の真岡市の子ども・子育て支援のあり方を決めるための貴重な資料とし
て、「真岡市子ども・子育て会議」において検討します。また、これ以外の目的には一切利用いたしません
ので、ご安心ください。

大変お忙しい中、ご多忙のこととは存じますが、該当をご理解いただき、ご協力をお願いします。

平成31年1月

真岡市長 石坂 真一

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、中学校に通学している生徒を対象としています。
2. ご記入は、対象どおし生徒(ご本人)がご記入ください。
3. ご回答は、選択順の番号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合がございます。
また、「その他」を選択した場合には、()内に具体的な内容を記入してください。
4. 設問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がございます。注意書きに従ってご回答ください。
特に注意書きの無い場合は次の期間へお進みください。
5. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手持ちですが、**2月1日(金)**までには同封の返信封筒をこ
れて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付やお名前を記入は必要ありません。

ご回答いただくでご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



真岡市 健康福祉部 ことも家庭課
電話:0285-83-8131(直通)
FAX:0285-82-2340
Eメール:kodomokatei@city.moka.lg.jp



3. あなたのふだんの生活についてうかがいます。

問6 あなたは平日に学校がある日の夜は、だいたい何時くらいに寝ていますか。(Oは1つ)

1. 午後9時より前	2. 午後9時台	3. 午後10時台
4. 午後11時台	5. 午前0時台	6. 午前1時より後

問7 あなたはふだん学校がある日の朝は、だいたい何時くらいに起きていますか。(Oは1つ)

1. 午前5時より前	2. 午前5時台	3. 午前6時台
4. 午前7時台	5. 午前8時台	

問8 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)は、誰と一緒に過ごすことが多いですか、以下の人たちと過ごす程度についてお答えください。(それぞれOは1つ)

項目	よくある	ときどきある	あまりない	まったくない
① 家族(親父母、祖父母などを含む)	1	2	3	4
② 部活動の友だち	1	2	3	4
③ その他の大人(近所の大人、部活動の指導員など)	1	2	3	4
④ 学校の友だち	1	2	3	4
⑤ 近所の友だち	1	2	3	4
⑥ 兄弟姉妹	1	2	3	4
⑦ ひとりである	1	2	3	4

問9 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)は、どこで過ごしますか。1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数をお答えください。(それぞれOは1つ)

項目	毎日	週に			そでい多く 過ぎない
		3~4日	1~2日		
① 自分の家	1	2	3	4	
② 同じ学校の友だちの家	1	2	3	4	
③ 学校以外の友だち(近所の友だちなど)の家	1	2	3	4	
④ 祖や部活	1	2	3	4	
⑤ 学校(部活など)	1	2	3	4	
⑥ 塾や学習サービス*	1	2	3	4	
⑦ スポーツクラブの活動の場	1	2	3	4	
⑧ 公園	1	2	3	4	
⑨ 図書館や公共の施設	1	2	3	4	
⑩ 近所やショッピングセンター	1	2	3	4	
⑪ その他(具体的に)	1	2	3	4	

* 塾、学習サービスとは、学校通学時の時間外のある程度まで、塾講師や専任講師等の長期休暇中に於いて、生徒の学力向上のための指導や授業的に行なわれることです。施設の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問10 あなたは、学校の部活動に参加していますか。(Oは1つ)

1. 参加している ⇒ 問11へ 2. 参加していない ⇒ 問10-1へ

問10-1 問10で「2. 参加していない」と回答した方にうかがいます。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 入りたい部がないから 2. 部の事情(部員の世話、部費など)があるから
3. 塾や部活があるから 4. おもしろくないから
5. 一緒に入る友だちがいないから 6. その他()

問11 あなたは、休日(学校がお休みの日)は、誰と一緒に過ごすことが多いですか。(Oは1つ)

※ 一緒に過ごすことが一番多い人をお答えください。

1. 家族(親父母、祖父母などを含む) 2. 部活動の友だち
3. その他の大人(近所の大人、部活動の指導員など) 4. 学校の友だち
5. 地方の友だち 6. 兄弟姉妹
7. ひとりである

問12 あなたは、休日(学校がお休みの日)は、どこで過ごしますか。(Oは1つ)

※ 一番多く過ごす場所をお答えください。

1. 自分の家 2. 同じ学校の友だちの家
3. 学校以外の友だち(近所の友だちなど)の家 4. 塾や部活
5. 学校(部活など) 6. スポーツクラブの活動の場
7. 公園 8. 図書館や公共の施設
9. 近所やショッピングセンター 10. その他(具体的に)

問13 あなたはふだん、困っていることや悩みごと、楽しいことや嬉しいことを、他の人にどれくらい話しますか。(それぞれOは1つ)

※ もっとも近いものをお答えください。 ※ 電話、メール、LINEなども含めて考えてください。

項目	毎日	週に		そでい多く 過ぎない
		3~4日	1~2日	
① 親	1	2	3	4
② 兄弟姉妹	1	2	3	4
③ 祖父母など	1	2	3	4
④ 学校の先生	1	2	3	4
⑤ 学校の友だち	1	2	3	4
⑥ 近所の友だち	1	2	3	4
⑦ ネット上の友だち	1	2	3	4
⑧ その他の大人(近所のスポーツクラブのコーチや塾や部活の指導員など)	1	2	3	4

問 14 スマートフォン・携帯電話・タブレットと、ゲーム機の1日の使用時間についてお答えください。
(それぞれOは1つ) ※もっとも近いものをお答えください。

項 目	4時間 以上	3時間 4時間未満	2時間 3時間未満	1時間 2時間未満	30分 1時間未満	30分より 少ない	まったく しない
① スマートフォン・ 携帯電話・タブレット	1	2	3	4	5	6	7
② ゲーム機によるゲーム (①のスマートフォンなどを使って ゲームのプレイ時間は含まず)	1	2	3	4	5	6	7

問 15 あなたはふだん、以下の活動をどれくらいしますか。(それぞれOは1つ)
※もっとも近いものをお答えください。

項 目	1週間に 6～7日	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日	まったく しない
① 家事(洗濯、掃除、料理、片付け)	1	2	3	4	5
② 兄弟姉妹の世話や生父母の介護	1	2	3	4	5

4. 食事、健康、暮らしのことについてうかがいます。

問 16 あなたは、平日(学校に行く日)は毎日、朝ごはんを食えますか。(Oは1つ)

1. 毎日、食べる	2. たまに食べない日がある
3. 食べない日がある	4. いつも食べない

問 17 あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんをどれと食えますか。(Oは1つ)

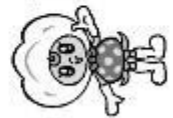
1. 親	2. 兄弟姉妹	3. その他の家族(祖父母など)
4. 家族以外の人	5. ひとりで食べる	6. 夕ごはんを食べない

問 18 あなたは、現在の健康状態についてどう感じていますか。(Oは1つ)

1. よい	2. まあよい	3. 普通	4. あまりよくない	5. よくない
-------	---------	-------	------------	---------

問 19 経済的に(お金に関して)は、あなたの家の暮らしは、次のどれにあたると思いますか。
(Oは1つ)

1. 大変心どりがち	2. ややゆとりがある	3. ゆとり
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	6. わからぬ



質問は、あと少しです！

問 20 わたしたちは、楽しい日ばかりではなく、ちょっとさみしい日も、楽しくない日もあります。この1週間はどんな1週間だったかお答えください。(それぞれOは1つ)
※良い答え、悪い答えはありませぬ。思ったとおりにお答えください。

項 目	いつも さみしい	時々 さみしい	さんみことば はない
① いつものように有罪していても楽しい	1	2	3
② とても悲しい気がする	1	2	3
③ 元気がいっぱい	1	2	3
④ 泣きたいような気がする	1	2	3
⑤ ひとりぼっちの気がする	1	2	3
⑥ 楽しみにしていることがたくさんある	1	2	3
⑦ やるうと思ったことがうまくできる	1	2	3
⑧ 遊びに出かけたい	1	2	3

5. 学校や勉強のことについてうかがいます。

問 21 あなたの学校への気持ちについてお答えください。(それぞれOは1つ)

項 目	非常に そう思う	まあ そう思う	どちらとも いえぬ	あまり 思わない	まったく 思わない
① 学校でいくのが好き・楽しみ	1	2	3	4	5
② 学校を休みたいと思うことがある	1	2	3	4	5

問 22 あなたの(学校の)先生への気持ちについてお答えください。(それぞれOは1つ)

項 目	非常に そう思う	まあ そう思う	どちらとも いえぬ	あまり 思わない	まったく 思わない
① 私の言つことを真剣に聞いてくれる	1	2	3	4	5
② 私の気持ちをわかってくれる	1	2	3	4	5
③ 用っている時に助けてくれる	1	2	3	4	5
④ 生徒を公平に扱ってくれる	1	2	3	4	5

問 23 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(Oは1つ)

1. いつもわかる	2. だいたいわかる	3. あまりわからない
4. わからぬことが多い	5. ほとんどわからない	

問 24 勉強がわからないとき、誰に教えてもらいますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 親	2. 親以外の家族(兄弟姉妹や祖父母など)	3. 学校の先生
4. 友だち	5. 塾や習い事の先生	6. その他の大人
7. 教えてもらえる人がいない		

7. あなたの将来についてうかがいます。

問 32 あなたは将来、どの段階まで進学したいですか。(Oは1つ)
 1. 中学校まで 2. 高校まで 3. 短大・高等専門学校・専門学校まで
 4. 大学またはそれ以上 5. まだわからぬ

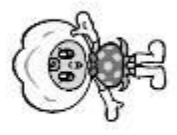
問 33 あなたには、将来なりたい職業がありますか。(Oは1つ) ※もっとも近いものをお答えください。
 1. なりたい職業が、はっきり決まっている ⇒ 問 33-1へ
 2. なりたい職業が、同じく決まっている ⇒ 問 33-1へ
 3. なりたい職業を考えているが、まだ決まっていない ⇒ 問 34へ
 4. なりたい職業について、考えたことがない ⇒ 問 34へ

問 33-1 問 33 で「1」「2」「3」のいずれかを回答した方にうかがいます。
 あなたは、次のようなことがありますか。(それぞれOは1つ)

項 目	よくある	時々ある	あまりない	まったくない
ア. なりたい職業について親と話をする	1	2	3	4
イ. なりたい職業について先生と話をする	1	2	3	4
ウ. なりたい職業について友達と話をする	1	2	3	4
エ. なりたい職業のことを自分で調べる	1	2	3	4
オ. なりたい職業について学校の授業で勉強する	1	2	3	4
カ. なりたい職業につくために勉強しようと思う	1	2	3	4

問 34 最後に、このアンケートの感想、学校や社会、大人の人に言いたいことなどがありましたら、自由にお書きください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。
切手を貼らずに同封の返信用封筒に入れて、2月1日(金)までに、



郵便ポストにご投函ください。

問 25 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(Oは1つ)
 1. 上のほう 2. やや上のほう 3. 真ん中のあたり
 4. やや下のほう 5. 下のほう 6. わからぬ

問 26 あなたにとって学校の成績はどれくらい重要ですか。(Oは1つ)
 1. 非常に重要である 2. 重要である 3. どちらでもない
 4. 重要ではない 5. まったく重要ではない

問 27 あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間をお答えください。(Oは1つ) ※塾などでの時間も含みます。
 1. まったくしない 2. 30分より少ない
 3. 30分以上、1時間より少ない 4. 1時間以上、2時間より少ない
 5. 2時間以上、3時間より少ない 6. 3時間以上

問 28 あなたは、学習塾や家庭教師を利用していますか。利用している場合、1週間に何日利用していますか。(Oは1つ)

1. 利用している	2. 週に1日	3. 週に2日	4. 週に3日
5. 週に4日	6. 週に5日	7. 週に6日	8. 毎日

6. あなたがふだん考えていることについてうかがいます。

問 29 あなたの思いや気持ちについて、ありのままにお答えください。(それぞれOは1つ)

項 目	とても嬉しい	まあ嬉しい	あまり喜ばない	まったく喜ばない
① 進めれば、包みかわれる	1	2	3	4
② 自分は重宝のある人間だ	1	2	3	4
③ 自分は家族に大層に愛されている	1	2	3	4
④ 不安に感じることが多い	1	2	3	4
⑤ 孤独と感じることはない	1	2	3	4
⑥ 自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4
⑦ 自分のことが好きだ	1	2	3	4

問 30 あなたは、いじめを受けることについて、どれくらい心配していますか。(Oは1つ)
 1. 心配していない 2. 少しが心配している 3. あまり心配している 4. 心配している

問 31 あなたはこれまでに、以下のようなことはありましたか。(それぞれOは1つ)

項 目	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった
① 夜遅くまで子どもだけで過ごしたこと	1	2	3	4
② 家族や自分が困っても、だれも助けてくれない	1	2	3	4
③ 早く自立して暮らさなければならないと感じたこと	1	2	3	4

4. 中学生保護者の調査票

1. あなたと、あなたのご家族のことについてうかがいます。

問1 お子さんとお母さんとの関係をお答えください。(Oは1つ)
※お子さんからみた続柄をお答えください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹
4. 祖母 5. 祖父 6. その他()

問2 あなたの年齢をお答えください。(口内に数字をご記入ください)

男 歳 女 歳

問3 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(Oは1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問4 あなたと同居されている方をお答えください。また、同居している家族全員の人数をご記入ください。(あてはまるものすべてにO、口内に数字をご記入ください)
※単身赴任しているご家族も含めてください。

1. 母親 2. 父親 3. 兄弟姉妹
4. 祖母 5. 祖父 6. その他()

同居している家族全員の人数 人

2. お子さんのお母さん、お父さんのお仕事についてうかがいます。

【お母さんについて】 【父子家庭の場合、記入は不要です】

問5 お子さんのお母さんの現在の働き方をお答えください。(Oは1つ)

1. 正職の職員 2. パート・アルバイト
3. 派遣社員・契約社員・嘱託 4. 会社・団体の役員
5. 自営 6. 内職
7. その他() 8. 目いていない

問5-1 問5で「1」から「7」まで回答した方にうかがいます。
お子さんのお母さんは、1週間のうち、どのくらいお仕事をされていますか。また、働いている日は1日当たり平均で何時間くらいお仕事をされていますか。(それぞれOは1つ)

①1週間の仕事日数	1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日
	5. 5日	6. 6日	7. 7日	
②1日当たり平均	1. 2時間未満	2. 2~4時間未満	3. 4~6時間未満	
	4. 6~8時間未満	5. 8~10時間未満	6. 10~12時間未満	
	7. 12時間以上			

真岡市子ども・子育て支援事業ニーズ調査票

【中学生の保護者の皆さまへ】

皆さまには、日頃から市政にご理解ご協力をお願いいたします。

平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく新制度がはじまり、真岡市においても、地えす変化するニーズに迅速に対応するため、「子どもと子育てに関する5年間の支援事業計画」を策定し、子育て支援サービスの充実を図ってまいりました。

この際、「子ども子育てに関する支援事業計画」の見直しにあたり、子育て支援のための施設やサービスの利用等について、現状とご意見を把握させていただくためにアンケート調査を実施することになりました。ご回答いただいた内容は、今後の真岡市の子ども・子育て支援のありかを決めるための貴重な資料として、「真岡市子ども・子育て会議」において検討します。また、これ以外の目的には一切利用いたしませんので、ご安心ください。

大変お忙しい中、ご多忙のこととは存じますが、新年度ご開始に付き、ご協力をお願いします。

平成31年1月

真岡市長 石坂 真一

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、中学校に通学している生徒の保護者を対象としています。

2. ご記入は、保護者の方がご記入ください。

3. ご回答は、選択欄の番号にOをつけていただく場合、数字をご記入いただく場合があります。また、「その他」を選択した場合には、()内に具体的な内容を記入してください。

4. 設定によっては、ご回答に長方形が罫られる場合がございます。注意書きに従ってご回答ください。特に赤書きの罫り場合は次の罫へお進みください。

5. ご記入いただいたアンケート用紙は、お子数ですが、**2月1日(金)**までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付やお名前前の記入は必要ありません。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



真岡市 健康福祉部 ことも家庭課

電話: 0285-83-8131(直通)

FAX: 0285-82-2340

Eメール: kodomokatei@city.moka.lg.jp

問5-2 問5で「1」から「7」を回答した方にうかがいます。
 お子さんのお母さんは、平日の日中以外の勤務もありますか（あてはまるものすべてに○）

1. 早朝（朝5～8時）	2. 夜勤（夜8～10時）	3. 深夜勤務（夜10～朝5時）
4. 土曜出勤	5. 日替・祝日出勤	6. その他（ ）
7. あてはまる勤務はない		

【お父さんについて】 【母子家庭の場合、記入は不要です】
 問6 お子さんのお母さんの現在の働き方をお答えください。（○は1つ）

1. 正職の専業主婦	2. パート・アルバイト
3. 派遣社員・契約社員・職社	4. 会社・団体等の役員
5. 自営	6. 内職
7. その他（ ）	8. 働いていない

問6-1 問5で「1」から「7」を回答した方にうかがいます。
 お子さんのお父さんは、1週間のうち、どのくらいお仕事をされていますか。また、働いている日は1日当たり平均で何時間くらいお仕事をされていますか。（それぞれ○は1つ）

①1週間の仕事日数	1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日
	5. 5日	6. 6日	7. 7日	
②1日当たり平均	1. 2時間未満	2. 2～4時間未満	3. 4～6時間未満	
	4. 6～8時間未満	5. 8～10時間未満	6. 10～12時間未満	
	7. 12時間以上			

問6-2 問6で「1」から「7」を回答した方にうかがいます。
 お子さんのお父さんは、平日の日中以外の勤務もありますか（あてはまるものすべてに○）

1. 早朝（朝5～8時）	2. 夜勤（夜8～10時）	3. 深夜勤務（夜10～朝5時）
4. 土曜出勤	5. 日替・祝日出勤	6. その他（ ）
7. あてはまる勤務はない		

3. あなたの健康や心の状態についてうかがいます。
 問7 あなたの健康状態等はいかがですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 健康である	2. 満員している
3. 入浴中である	4. 満員していないが体調が悪い
5. 病がかり認定を受けている（難病を除く）	6. 難病の指定を受けている
7. その他（ ）	

問8 あなたは、現在の生活を楽しんでいますか。（○は1つ）

1. とても楽しんでいる	2. 楽しんでいる
3. あまり楽しくない	4. 楽しくない
5. わからない	

問9 あなたは、ストレスを発散できる機会がありますか。（○は1つ）

1. ある	2. ときどきある	3. ほとんどない	4. ない	5. わからない
-------	-----------	-----------	-------	----------

4. お子さんの健康や受診状況についてうかがいます。
 問10 お子さんの健康・発達の状況はいかがですか。（○は1つ）

1. 健康である	2. 満員している病気がある	3. 入院している
4. 経過していないが心配が多い	5. 病がかりがある（難病を除く）	6. 難病の指定を受けている
7. 病區にまわられている	8. その他（ ）	

問11 過去1年間に、お子さん（兄弟姉妹を含む）を病院や歯医者で受診させたほうがよいと思っただが、実際には受診させなかったことはありましたか。（○は1つ）

1. あった	2. なかった
--------	---------

問12へ

問11-1 問11で「1. あった」と回答した方にうかがいます。
 その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. お金がなかった	2. 保険証がなかった
3. 仕事で遅れていく時間がなかった	4. 他の子どもの世帯で遅れていく時間がなかった
5. 自分の健康状態が悪く遅れて行くことがなかった	6. 病院が遠いから
7. 子どもが嫌がった	8. 子どもが忙しかった
9. 様子をみていたら受診せずに回復したため	10. その他（ ）

5. 子育てについてうかがいます。
 問12 お子さんの登校の様子はいかがですか。（○は1つ）

1. ほとんど休まず登校している	2. ほとんど休まず登校しているが、学校に行きながら病気が多い
3. 時々休むことがある	4. よく休むことがある
5. その他（ ）	

問13 お子さんのことについて、以下のことはどの程度あてはまりますか。①～③について、それぞれお答えください。（それぞれ○は1つ）

項目	非常にあてはまる	ややあてはまる	どちらかといえば多い	どちらかといえば少ない	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる	あてはまる
① お子さんの興味や日中の活動について	1	2	3	4	5					
② 習字の活動についてお子さんと話し合う	1	2	3	4	5					
③ お子さんが外出するとき行き先や誰と一緒に知っている	1	2	3	4	5					

《このアンケートを持ち帰ったお子さんについてうかがいます。》

問 14 あなたのご家庭では、お子さん用の以下のものをお持ちですか。(それぞれ〇は1つ)

項 目	持っている	持っていない
① 本(学校の教科書やマンガを除く)	1	2
② 子ども部屋(兄弟と一緒に使っている場合も含む)	1	2
③ インターネットにつながるパソコン(家族共有を含む)	1	2
④ 子ども専用の洗濯機	1	2
⑤ スポーツ用品(グローブやサッカーボール等)	1	2
⑥ ゲーム機	1	2
⑦ 白板	1	2
⑧ 携帯電話	1	2
⑨ 携帯電話プレーヤー等	1	2

問 15 ここ1か月のうち、学校教育にかかった費用(教材費、給食費、通学費、通学費、部活費用など)についておうかがいします。(〇は1つ)

1. 5万円未満	2. 5千円～1万円未満	3. 1～2万円未満
4. 2～3万円未満	5. 3～4万円未満	6. 4～5万円未満
7. 5～6万円未満	8. 6～7万円未満	9. 7万円以上

問 16 ここ1か月のうち、学習塾・家庭教師・通信教育等にかかった費用についておうかがいします。(〇は1つ)

1. 利用していない	2. 5千円未満	3. 5千円～1万円未満	4. 1～2万円未満
5. 2～3万円未満	6. 3～4万円未満	7. 4～5万円未満	8. 5～6万円未満
9. 6～7万円未満	10. 7万円以上		

問 17 ここ1か月のうち、習い事・スポーツクラブ等にかかった費用についておうかがいします。(〇は1つ)

1. 通っていない	2. 5千円未満	3. 5千円～1万円未満	4. 1～2万円未満
5. 2～3万円未満	6. 3～4万円未満	7. 4～5万円未満	8. 5～6万円未満
9. 6～7万円未満	10. 7万円以上		

問 18 ここ1か月のうち、お子さんにかかったすべての費用についておうかがいします。(〇は1つ)

1. 2万円未満	2. 2～3万円未満	3. 3～4万円未満
4. 4～5万円未満	5. 5～6万円未満	6. 6～7万円未満
7. 7～8万円未満	8. 8～9万円未満	9. 9万円以上

《すべてのお子さんについてうかがいます。》

問 19 ここ1か月のうち、兄弟姉妹を含むすべてのお子さんにかかった費用についておうかがいします。(〇は1つ)

1. 0～4万円未満	2. 4～6万円未満	3. 6～8万円未満
4. 8～10万円未満	5. 10～12万円未満	6. 12～14万円未満
7. 14～16万円未満	8. 16～18万円未満	9. 18万円以上

問 20 現在、就学援助を受けていますか。(〇は1つ)

1. 受けている	2. 受けていない	3. わからない
----------	-----------	----------

問 20-1 問 20 で「2. 受けていない」と回答した方についておうかがいします。

受けていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 申請した認定されなかった	2. 必要なかった
3. 申請要件を満たしていないかった	4. 申請の仕方がわからなかった
5. 申請することになった	6. 就学援助を知らなかった
7. その他()	

問 21 お子さんにとどの段階までの教育を受けさせたいですか。(〇は1つ)

1. 中学	2. 高校	3. 高等専門学校	4. 大学
5. 専門学校	6. 大学またはそれ以上	7. まだわからない	8. その他()

問 22 問 21 の教育を受けさせるための、お金の準備状況ははいかがでしょうか。(〇は1つ)

1. 必要とお金はすでに準備できている	2. 貯蓄や学習保険などで準備が始まっている
3. 時期になったら学習会を利用する予定である	4. まったく目標はついていない
5. その他()	

問 23 あなたの家庭では、過去1年間の間に、お子さんと以下のような体験をしましたが、(それぞれ〇は1つ)

取 組	ある	ない	
		金銭的負担の理由で	その他の理由で
① 1年に1回程度家族旅行に行く	1	2	3
② 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3
③ お誕生日のお祝いをする	1	2	3
④ クリスマスのプレゼントや正月のお年玉	1	2	3
⑤ 習い手(音楽、スポーツ、習字等)を替わせる	1	2	3

問 24 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族・親戚、友人・知人、同僚など)がいますか。(〇は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問25 これまでの子育ての中で以下のようなことがあったり、思ったりしたことはありませんか、
(それぞれ0は1つ)

項目	あてはまる	どちらか いえない あてはまる	どちらか いえない あてはまらない	あてはまらない
① いらいらして子どもにあたってしまった	1	2	3	4
② しつじのいさぎずぎがあった	1	2	3	4
③ つい感情的に子どもを叩いた	1	2	3	4
④ 感情的な言葉で怒った	1	2	3	4
⑤ この子がいなかっと思ったら思ったことがある	1	2	3	4
⑥ 子育てから解放された	1	2	3	4
⑦ 子どもを育てるために数量ばかりしている	1	2	3	4
⑧ 子育ては孤独だと感じる	1	2	3	4
⑨ 子育てにはあまり関心がない	1	2	3	4
⑩ 家族としての絆が薄くなった	1	2	3	4
⑪ 子どもを重く扱ったと感じる	1	2	3	4
⑫ 子どもの成長が楽しい	1	2	3	4
⑬ 自分が成長できたと思う	1	2	3	4



質問は、あと少しです！

6. 現在の暮らしについてうかがいます。

問26 あなたの世帯は、現在の暮らしの状態を経済的にみてどのよう感じていますか。(0は1つ)

1. 大変どりががある
2. ややどりががある
3. ぶつう
4. やや通しい
5. 大変通しい

問27 全世帯員の前年度の収入合計額(税込)はおおよそいくらでしたか。(0は1つ)

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～300万円未満
6. 300～400万円未満
7. 400～500万円未満
8. 500～600万円未満
9. 600～700万円未満
10. 700～800万円未満
11. 800～900万円未満
12. 900～1,000万円未満
13. 1,000万円以上

問28 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、困ったことはありませんか。
(それぞれ0は1つ)

項目	よくあった	ときどき あった	まれにあった	まったく なかった
① 家族が洋服とする費用を払えない	1	2	3	4
② 家族が洋服とする衣類を払えない	1	2	3	4
③ 家賃や公共料金を払えない	1	2	3	4

問 31 あなたは、これまでに困った時に以下の公的機関に相談したことがありますか。また、相談したことがない場合は、その理由をお書きください。(それぞれ○は1つ)

項 目	相談したことがある			相談したことがない		
	思わぬことになった	思わぬことになった、相談が必要であった	思わぬことになった、相談が必要であった	思わぬことになった	思わぬことになった、相談が必要であった	思わぬことになった、相談が必要であった
① 学校・図書館(館)・学習塾の先生 スクールカウンセラーなど	1	2	3	4	5	5
② 家族(近親者)など (ことちか家庭相談センター)	1	2	3	4	5	5
③ 子育て支援センター	1	2	3	4	5	5
④ 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5	5
⑤ 県学生福祉センター(知床局)	1	2	3	4	5	5
⑥ 総合福祉保健センター(函館市)	1	2	3	4	5	5
⑦ 児童相談所	1	2	3	4	5	5
⑧ ハローワーク	1	2	3	4	5	5
⑨ 社会福祉協議会	1	2	3	4	5	5

問 32 すべての子どもたちが生まれた環境に左右されることがなく、夢と希望を持って成長していただける社会の実現に向け、どのような支援が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 読み書き、計算などの子どもの基礎的な学習への支援	
2. 子どもの進学を支援する進路指導や学習塾への支援	
3. 地域における子どもの居場所(学習、読書、遊び等)の確保	
4. 保護者が家にいないときに子どもを預かる園やサークルの確保	
5. 子どものことや生活のことなど悩みを相談できる場の充実	
6. 民生委員・児童委員など、地域の人の支援	
7. 安い家賃で住める住居の確保	
8. 保護者の経済的負担の軽減	
9. 子どもの就学にかかる費用の軽減などの支援	
10. 一時的に必要となる資金の貸付	
11. その他()	
12. 他にない	
13. わからない	

問 33 最後に、制度や支援策へのご要望やご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上になります。調査にご協力いただきまして、ありがとうございます。2月18日(金)までに、郵便ポストにご投入ください。切手を貼らずに同封の通信用封筒に入れて、2月18日(金)までに、郵便ポストにご投入ください。

7. 制度の利用やご意見についてうかがいます。

問 29 子どもに関する施策等の情報を得るために、以下のようなものをどの程度参考としていますか。(それぞれ○は1つ)

項 目	よくある	たまにある	あまりない	まったくない
① 行政機関の心算誌・案内	1	2	3	4
② 行政機関のホームページ	1	2	3	4
③ SNS(LINE やツイッターなど)	1	2	3	4
④ インターネット	1	2	3	4
⑤ 学校などからのお便り(メール)	1	2	3	4
⑥ 家族や友人からの情報	1	2	3	4

問 30 以下の子育てに関する制度やサービスをこれまでに利用したことがありますか。また、利用したことがない場合は、その理由にもっとも近いものをお書きください。(それぞれ○は1つ)

項 目	利用したことがある		利用したことがない		利用したことがない理由	
	頻りに利用している	たまに利用している	頻りに利用している	たまに利用している		
① 放課後児童クラブ ^{※1} (学童保育)	1	2	3	4	5	6
② 放課後子ども教室 ^{※2}	1	2	3	4	5	6
③ 放課後サテライトサービス ^{※3}	1	2	3	4	5	6
④ 児童見守り	1	2	3	4	5	6
⑤ ファミリー・サポート・センター	1	2	3	4	5	6
⑥ 学童支援事業	1	2	3	4	5	6
⑦ 子ども発達	1	2	3	4	5	6
⑧ 子育て短期支援事業(ショートステイ)						7
						7

※1 放課後児童クラブとは、利用によって学童保育などと同様に利用されています。児童の状況等により児童支援に関する場合があります。

※2 放課後子ども教室とは、地域の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学童・スポーツ・文化活動などを実施する施設です。放課後の放課後の利用に限り、すべての小学生が利用できます。

※3 放課後サテライトサービスとは、学校や地域の施設のある児童に対して、放課後や夏休みの長期休暇中において、生活能力向上のための訓練や支援を行う施設です。通常の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

5. 妊婦の調査票

真岡市子ども・子育て支援事業二一ス調査票 〔妊婦の皆さまへ〕

皆さまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
平成27年4月から「子ども・子育て支援法」に基づく新制度がはじまり、真岡市においても、見えす
く変化する二一スに迅速に対応するため、「子どもと子育てに関する5年間の支援事業計画」を策定し、子育て
支援サービスの充実を図ってまいりました。

この際、「子ども子育てに関する支援事業計画」の円滑化にあたり、子育て支援のための施設やサービス
の利用等について、現状とご要望をお聞かせいただくためにアンケート調査を実施する事になりました。
ご回答いただいた内容は、今後の真岡市の子ども・子育て支援のあり方を決めるための貴重な資料とし
て、「真岡市子ども・子育て会議」において検討します。また、これ以外の目的には一切利用いたしません
ので、ご安心ください。

大変お忙しい中、ご多忙のこととは存じますが、誠意をこめてお願いいたします。ご協力をお願いします。

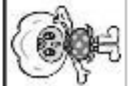
平成31年1月

真岡市長 石坂 真一

<ご記入にあたってのお願い>

1. 本調査の対象者は、平成30年6月13日から平成30年12月13日の間で、妊娠の届出を行った妊婦の方
を対象としています。すでに出生された場合でも、ご協力をお願いします。
2. ご記入は、宛名の妊婦の方をお願いします。
3. ご回答は、選択欄の番号に○をつけていただく場合と、数字をご記入いただく場合がございます。
また、「その他」を選択した場合には、()内に具体的な内容を記入ください。なお、初めて
の応募である方は、今後のことをイメージしてお答えいただく質問もございます。
4. 設問によっては、ご回答いただく方が限られる場合がございます。注意書きや失印に従ってご回答くだ
さい。特に注意書きの正しい場合は誤の判断へお気をつけください。
5. ご記入いただいたアンケート用紙は、お手紙ですが、**2月1日(金)**までに同封の返信用封筒を入
れて、郵便ポストにご投函ください。切手の貼付やお名前前の記入は必要ありません。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。



真岡市 健康福祉部 ことも家庭課
電 話：0285-83-8131(直通)
F A X：0285-82-2340
Eメール：kodomokatei@city.moka.lg.jp



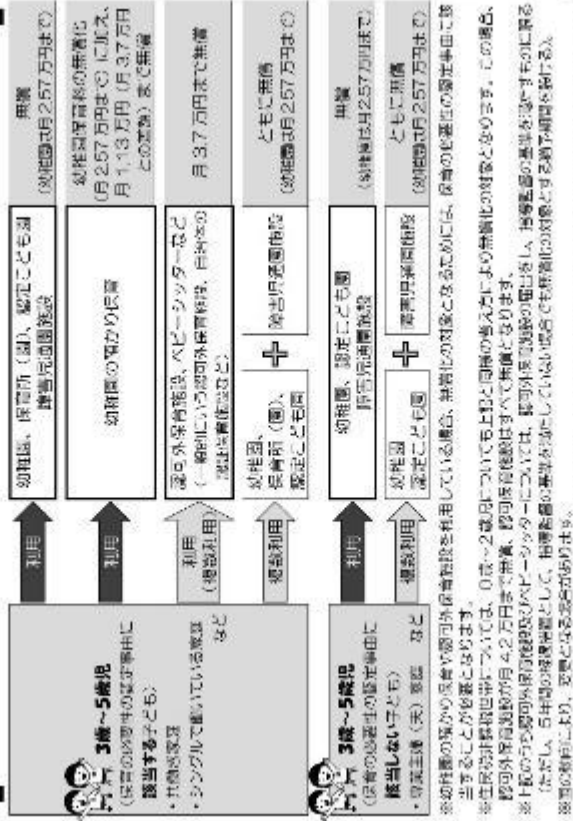
子ども子育て支援新制度(平成27年4月より)は、以下のような考え方に基づいています。

子どもや保護者に必要となる支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができることを
社会全体の責務とし、平成27年4月より開始された新制度では、社会全体の責任とし
て、そのような社会を実現するための制度を整備することを目指しています。

また、本調査には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、地域や社会が保
護者に寄り添い、親としての成長を支援し、子育てや子どもたちの成長に喜びや生きがいを感じるこ
とができるような支援を目指しています。

<参考資料> 子ども・子育てを取り巻く動向 国が示す「幼児教育・保育無償化」について

2019年10月より、3歳から5歳までのすべての子ども及び10歳から2歳までの児童が非課税世
帯の子どもについての幼児教育・保育の費用の無償化が予定されています。
幼児教育・保育の無償化の内容は下表のとおりです。



1. お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域の郵便番号を記入してください。(口内に数字をご記入ください。)

321

2. あなたご自身のことについてうかがいます。

問2 あなたの年齢は、何歳ですか。(Oは1つ)

※平成30年4月1日現在の年齢をお答えください。

1. 20歳未満 2. 20~24歳 3. 25~29歳 4. 30~34歳
5. 35~39歳 6. 40~44歳 7. 45歳以上

問3 あなたの家族の形態は、どれにあたりますか。(Oは1つ)

1. 自分だけ夫婦のみ 2. 自分たち夫婦と子ども(2世代)
3. 自分たち夫婦と子どもと親(3世代) 4. 母子家庭
5. その他()

問4 あなたの現在の働き方をお答えください。(Oは1つ)

1. 正職の職員 2. パート・アルバイト 3. 派遣社員・契約社員・嘱託
4. 会社・団体の役員 5. 自営 6. 内職
7. その他() 8. 生計がいない



3. 育児休業の取得予定についてうかがいます。

問6 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得する予定はありますか。また、取得する予定のない方はその理由をお答えください。
(それぞれOは1つ、取得する予定のない方はその理由として、あてはまるものすべてにO)

(1) 母親 (Oは1つ)		(2) 父親 (Oは1つ)	
1. 取得する予定がある		1. 取得する予定がある	
2. 取得する予定はない		2. 取得する予定はない	
(1) 母親	(2) 父親	取得する予定がない理由(あてはまるものすべてにO)	
1	1	期間に育児休業を取りにくい雰囲気があるため	
2	2	仕事が忙しいため	
3	3	(産後)に仕事を早く復原したいから	
4	4	仕事にやる気が続かないから	
5	5	昇給・昇格などが遅れすぎたから	
6	6	収入減となり、経済的に難しくなるから	
7	7	保育所(園)や認定こども園などに預けることができずだから	
8	8	別業者が育児休業制度を利用するため	
9	9	配偶者が無職、借入等の状態にみてもらえるなど、世帯を利用する余裕がないから	
10	10	子育てや家事に専念するため(就業規則に定めがない)	
11	11	期間に育児休業の制度がないから(就業規則に定めがない)	
12	12	有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさないから	
13	13	育児休業を取得できることを知らなかったから	
14	14	産前産後の休暇(産前8週間、産後8週間)を取得できることと知らず、申請した	
15	15	その他【母親】()	
		その他【父親】()	

4. 保育所(園)や幼稚園についてうかがいます。

問6 出席録、「お子さん」を幼稚園や保育所(園)、認定こども園を利用したいと思っておりますか。(Oは1つ)

1. 思っている ⇒ 問6-1, 2, 3, 4へ 2. 思っていない ⇒ 問6-5へ

問6-1 問6で「1. 思っている」と回答した方にうかがいます。

いくつになったら利用したいと思っておりますか。(Oは1つ)

1. 出席後すぐ 2. 生後3か月以上 3. 1歳 4. 2歳
5. 3歳 6. 4歳 7. 5歳

問6-2 問6で「1. 思っていない」と回答した方にうかがいます。

利用する際、重視する点はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅の近くにあること
2. 通園の近くにあること
3. 送迎経路にあること
4. 通う小学校のある住み地区内にあること
5. 園の方針、内容に魅力があること(保育サービスが充実している)
6. 施設設備が充実していること
7. その他()

問6-3 問6で「1. 思っていない」と回答した方にうかがいます。

実際に利用したいと考える事業をお答えください。また、「5. 認可保育所(園)」の場合には、「希望する保育施設」についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 公立保育所
2. 私立保育園
3. 認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
4. 幼保園
5. 小規模保育園(保育士6人以上19人以下の人数で行う保育施設)
6. 家庭的保育(保育士の家庭等で子どもを保育する形態)
7. 学童市内保育施設(作業科を中心に保育士員に就属する施設)
8. 認可外の保育施設
9. 児童発達支援事業所(ゆがみ者が事前に日常生活における基本動作の習得、自然に発達を促進や技能の習得又は集団生活への適応のための指導が実施される施設)
10. その他()

問6-4 問6で「1. 思っていない」と回答した方にうかがいます。

保育・保育事業を利用したい場所はどこですか。(○は1つ)

1. 只須市内
2. 他の市町

問6-5 問6で「2. 思っていない」と回答した方にうかがいます。

利用したいと思っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○、口内に数字をご記入ください。)

1. 利用する必要がない(子どもの保育や発達のため、子どもの母親が父親が担当していないため)
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみてくれる
3. 近所の人や父母の友人・知人がみてくれる
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・翌日等の保育等の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や価格など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他()

問7 すべての方にうかがいます。

一時的にお子さんを預かってくれる方はいますか。(○は1つ)

1. いる ⇒ 問7-1へ
2. いない ⇒ 問8へ

問7-1 問7で「1. いる」と回答した方にうかがいます。

お子さんを預かってくれる方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 親
2. 兄弟姉妹
3. 友人
4. その他()

問8 すべての方にうかがいます。

保育所(園)や幼稚園がもっと利用しやすくなるためには、どのような機能が重要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 保育所(園)に入園していない児童の一時的な預かり保育
2. 子育てに関する相談窓口等の開設、子育て情報提供
3. 園児以外も参加できる育児相談、育児講座等の開催
4. 出産後できる限り早く預かる乳児(0歳児)保育
5. 病児中の子供を預かる病児保育
6. 病児回復期の子どもを預かる病後児保育
7. 朝の送迎時刻をゆるめる早送迎
8. 夕方の終了時刻を延長する延長保育
9. 日替・休日も預かる休日保育
10. 変更できる送迎保育
11. 送迎バスの運行
12. その他()

5. 妊娠中の相談先についてうかがいます。

問9 妊娠中の不安や悩みはありますか。(○は1つ)

1. ある ⇒ 問9-1
2. ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. ある」と回答した方にうかがいます。

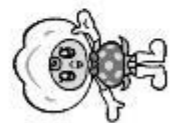
不安や悩みをどのような方に相談しますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族に相談する
2. 友人・知人に相談する
3. 子育てサークル等で知り合った地域の人に相談する
4. 医師・助産師・看護師に相談する
5. 無業期支援センターや総合福祉支援センターの相談室に相談する
6. 児童館(館)や幼稚園・認定こども園の先生に相談する
7. 育児書、育児雑誌を読む
8. 相談相談を利用する
9. 誰にも相談せず、自分ひとりで解決する
10. その他()

問9-2 問9で「1. ある」と回答した方にうかがいます。

あなたの妊娠中や出産のときに、必要だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 妊婦同士の交流の場
2. 妊婦・出産についての情報提供
3. 妊婦・出産についての相談援助
4. 妊娠中の訪問家庭援助
5. 助産(助産)の協力
6. 助産の授業
7. 上の子の預かり
8. 出産後の預け先
9. 公共交通機関の整備
10. 建物の程差・バリアフリー
11. お金(経済的支援)
12. その他()

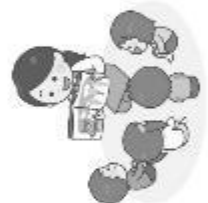


質問は、残り半分くらいです！

6. 子育て支援事業についてうかがいます。

問10 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑭の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

事業	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
① 母親父親学校、両親学校、育児学校	1	2	1	2	1	2
② 総合福祉保健センターの育児・相談事業	1	2	1	2	1	2
③ 家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2
④ 教育相談センター・教育相談室	1	2	1	2	1	2
⑤ 保育所(園)や幼稚園の園遊会の開放(エンゼル広場)	1	2	1	2	1	2
⑥ 認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)の子育て支援	1	2	1	2	1	2
⑦ 子育て支援センター(身元保証制における相談や保育士の交際の場)	1	2	1	2	1	2
⑧ 異年齢子育て世代交流支援センター	1	2	1	2	1	2
⑨ 異年齢遊び	1	2	1	2	1	2
⑩ ファミリー・リポート・センター(自治会による市民一時預かりを中心とした相互援助活動)	1	2	1	2	1	2
⑪ 家庭児童相談室(こども家庭支援センター)	1	2	1	2	1	2
⑫ 市が発行している子育て情報誌(ももか子育てガイドブック)	1	2	1	2	1	2
⑬ 異年齢子どもオンラインゲーム(遊び仲間を広く募集し、市内の親子と一緒に子育ての悩みを相談できる団体)	1	2	1	2	1	2
⑭ 一時預かり	1	2	1	2	1	2
⑮ 延長保育	1	2	1	2	1	2
⑯ 育児保育	1	2	1	2	1	2
⑰ 産後育児會	1	2	1	2	1	2
⑱ 休日保育	1	2	1	2	1	2
⑲ 幼稚園子育てランド(体験型親子交流等)	1	2	1	2	1	2
⑳ もしもレレフォン(子育て相談)	1	2	1	2	1	2
㉑ 妊婦入院生活援助事業・ショートステイ(育児準備施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	1	2	1	2	1	2



7. 暮らしについてうかがいます。

わたしたちの国では、7人に1人の子どもが貧困状態にあると言われています。国では、子どもの貧困対策を総合的に推進するため、平成26年1月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されています。貴国市において、次期計画を策定するに当たり、子どもの貧困対策を総合的に推進する推進原案を掲げるための基礎資料とするための調査を行います。

問11 あなたの世帯は、現在の暮らしの状況を経済的にみてどのようなように感じていますか。(Oは1つ)

1. 大分ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. ぶつう
4. やや苦しい
5. 大変苦しい

問12 全世帯員の前年度の収入合計額(税込)はおおよそいくらでしたか。(Oは1つ)

1. 50万円未満
2. 50~100万円未満
3. 100~150万円未満
4. 150~200万円未満
5. 200~300万円未満
6. 300~400万円未満
7. 400~500万円未満
8. 500~600万円未満
9. 600~700万円未満
10. 700~800万円未満
11. 800~900万円未満
12. 900~1,000万円未満
13. 1,000万円以上

問13 ひとりで親業の保護者の方にかかっています。差ひとり親家庭以外の方は問15へ生活する上で、どのような不安や悩みをもっていますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 生活費に関すること
2. 教育費に関すること
3. 親子の立会いに関すること
4. 仕事(就業・転職を含む)に関すること
5. 台所に關すること
6. 子育て・教育に関すること
7. 健康(病氣)に関すること
8. 結婚に関すること
9. 友人・親人との付き合いに関すること
10. その他()
11. 他にない

問14 仕事を持っている女性が妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 産前産後の休職が十分に取得できること
2. 育児のために、就業時間外ある程度勤務する期間中に働かすことができること
3. 育児のために、必要な期間、就業時間を短縮できること
4. 子どもが1歳に達するまでの間、育児休業を取得できること
5. 会社も育児休業を取れるようにすること
6. 子どもが病気やけがの病急など休職がとれること
7. 企業内に託児所(園)を設けること
8. 育児のために、自費で仕事をできること
9. 出産・育児のために会社を辞めた人を再雇用すること
10. その他()

8. 少子化についてうかがいます。

問15 現在のお子さんの人数、今後の出産予定の人数、理想とするお子さんの人数は何人ですか。(口内に数字をご記入ください。)

区分	人数
① 現在のお子さんの人数	□□ 人
② 今後の出産予定の人数	□□ 人
③ 理想とするお子さんの人数	□□ 人

問16 問15の「理想とするお子さんの人数」より、「現在のお子さんの人数」が少ない方にかかっています。

あなたが理想とするお子さんの人数は、実現可能だと思いますか。(Oは1つ)

1. 実現可能だと思う ⇒ 問17へ
2. 実現することは難しいと思う ⇒ 問18へ

問16-1 問16で「2. 実現することは難しいと思う」と回答した方にかかっています。実現することが難しいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 子育てのための経済的負担が大きいため
2. 子どもが何れかどう育つのが不安になる点、精神的負担が大きいため
3. 子育てのための身体的負担が大きいため
4. 仕事と子育ての両立が困難だから
5. 子育てより自らの時間を大切にしたいから
6. 子育てをすすめるための生活事情が悪いから
7. 年齢のあるいは健康上の理由から
8. その他()

問17 あなたは、少子化問題に対してどのように考えていますか。(Oは1つ)

1. とにかく解決すべき重要課題
2. できるだけ解決すべき重要課題
3. 重要な課題だが、差しがたいことだと思う
4. 行く課題を感じる

問18 少子化対策として、どのようなことが大切だと思いますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 結婚に対する支援
2. 労働時間の短縮
3. 母子保健のサービスの充実
4. 妊娠・小児医療サービスの充実
5. 不妊治療に対する支援
6. 育児休暇の充実
7. 育児休業制度の普及・啓発
8. 産後ケアや海外赴任などの転勤に対する企業の配慮
9. 各都府県サービスの充実
10. 長官所(園)や託児所などの費用軽減
11. 教育費の負担軽減
12. 出産に対する一時金の支給
13. その他()
14. 併になし

真 岡 市
子ども・子育て支援事業ニーズ調査
【結果報告書】

平成 31 年 3 月発行

発行 真岡市

編集 真岡市 健康福祉部 こども家庭課

〒321-4395 栃木県真岡市荒町 5191 番地

TEL : 0285-83-8131 (直通)

FAX : 0285-82-2340

URL : <https://www.city.moka.lg.jp/>